

福祉に関するアンケート  
調査結果報告書

令和5年3月  
佐用町

# 目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	結果の見方	1
II	調査結果	2
1	回答者する方の基本事項	2
1-1	調査票の記入者	2
1-2	障害者手帳	2
1-3	受けている診断や認定	3
1-4	年齢	5
1-5	所在地	6
1-6	同居人	6
2	現在の生活について	9
2-1	現在の暮らし方	9
2-2	今後の暮らし方	11
2-3	地域に求める支援	12
2-4-1	主な収入	13
2-4-2	平均収入額	15
2-5	相談相手	16
2-6	暮らしにおける必要な支援	19
2-6-1	主な介助者	22
2-6-2	介助者の年齢と健康状態	25
2-7-1	差別・偏見の有無	26
2-7-2	差別を受けた場面	28
2-8	「合理的配慮」についての認知度	30
3	安全・安心について	31
3-1	災害時に困ること	31
3-2	成年後見制度についての認知度	33
4	外出について	34
4-1	外出頻度	34
4-2-1	単独での外出	35
4-2-2	外出時の介助者	37
4-3	外出目的	39
4-4	外出時に困ること	40
5	仕事について	43
5-1	就労状況	43
5-2	就労内容	44

5-3	必要な就労支援	46
5-4	未就労の理由	47
6	障害福祉サービスについて	49
6-1	障がい支援区分	49
6-2	障害福祉サービスの利用状況	49
6-3	新たに利用したいサービス	51
6-4	福祉サービスの情報源	54
6-5	「地域生活支援拠点」についての認知	57
6-6	「地域生活支援拠点」への利用登録者	57
6-7	「地域生活支援拠点」に対しての要望	57
7	通院医療について	58
7-1	通院の有無・頻度	58
7-2	通院時の問題	60
8	療育・保育について	63
8-1	受けている(いた)療育・保育	63
8-2	療育・保育に関する必要な支援	64
9	地域の学校、保育園や幼稚園などに通われている方について	65
9-1	今後の保育・教育に求めること	65
10	長期休暇中、放課後等の過ごし方について	66
10-1	長期休暇中(夏休みなど)、放課後等の主な過ごし方	66
11	将来について	67
11-1	将来の生活	67
11-2	今後の就労に対しての不安	67
12	自由記述	68
12-1	障がいのある方の施策全般についての意見・要望	68

# I 調査概要

## 1 調査の目的

「第3次佐用町障害者計画」、「第7期佐用町障害福祉計画・第3期佐用町障害児福祉計画」の策定に向けた資料とするほか、今後佐用町が障がい者福祉施策を進める際の参考とすることを目的に調査を行いました。

## 2 調査の方法

種別	福祉に関するアンケート
調査対象	佐用町在住の障害者手帳所持者
調査地域	佐用町全域
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	令和5年2月1日～2月21日
配布数	470件
回収数	233件
回収率	49.6%

## 3 結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 本報告書は、それぞれの手帳所持者別にクロス集計をかけることで身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者がそれぞれに数えられ、集計されています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

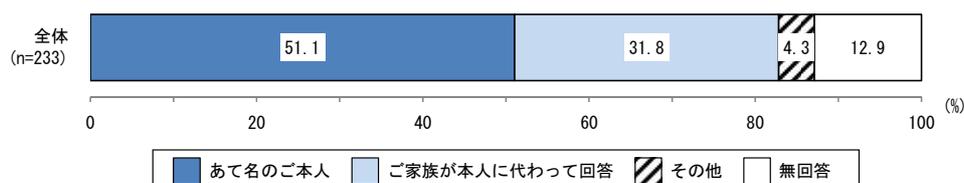
## II 調査結果

### 1 回答者する方の基本事項

#### 1-1 調査票の記入者

問1 アンケートに回答していただくのはどなたですか。【1つに○】

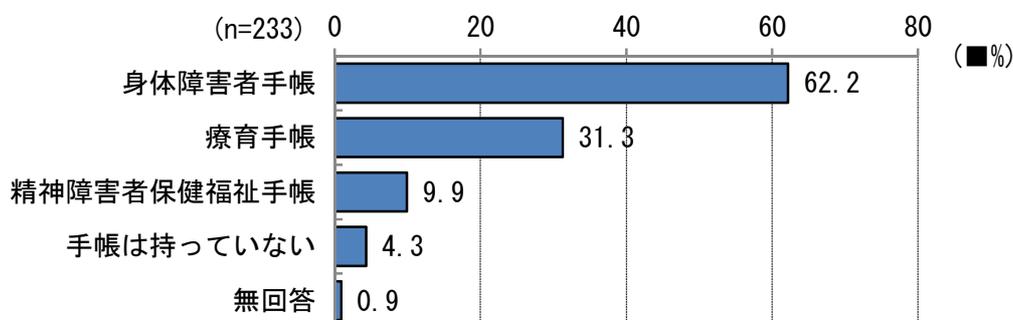
回答者は「あて名のご本人」が51.1%と半数以上を占めており、次いで「ご家族が本人に代わって回答」のが31.8%の割合となっています。



#### 1-2 障害者手帳

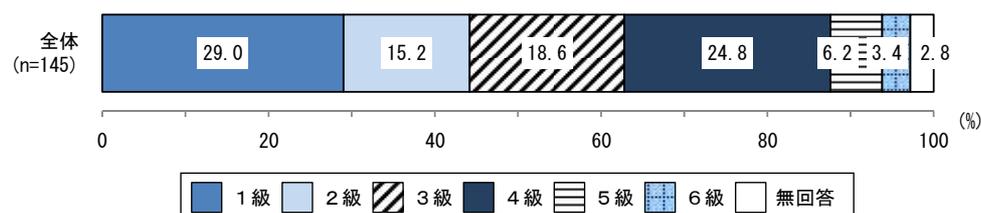
問1 あなたは次の手帳を持っていますか。持っている場合はその内容についてお答えください。【あてはまるものすべてに○】

障害者手帳の所持状況は「身体障害者手帳」が62.2%と最も高く、次いで「療育手帳」が31.1%、「精神障害者保健福祉手帳」が9.9%となっています。



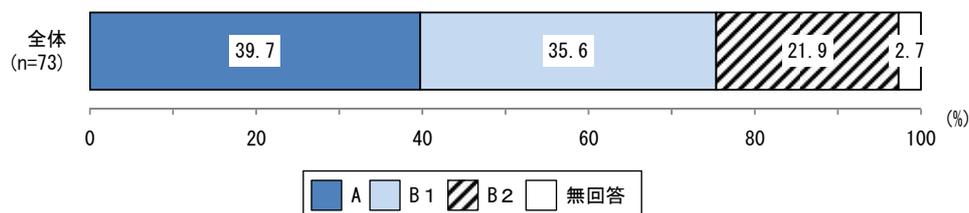
#### ・身体障害者手帳の等級

身体障害者の等級は「1級」が29.0%と最も高く、次いで「4級」が24.8%、「5級」が18.6%となっています。



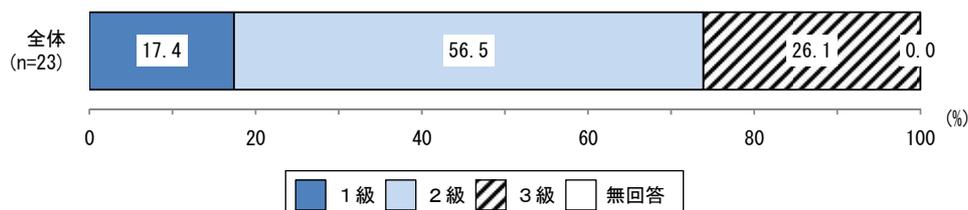
### ・知的障害者の程度

療育手帳の等級は「A」が39.7%と最も高く、次いで「B1」が35.6%、「B2」が21.9%となっています。



### ・精神障害者の等級

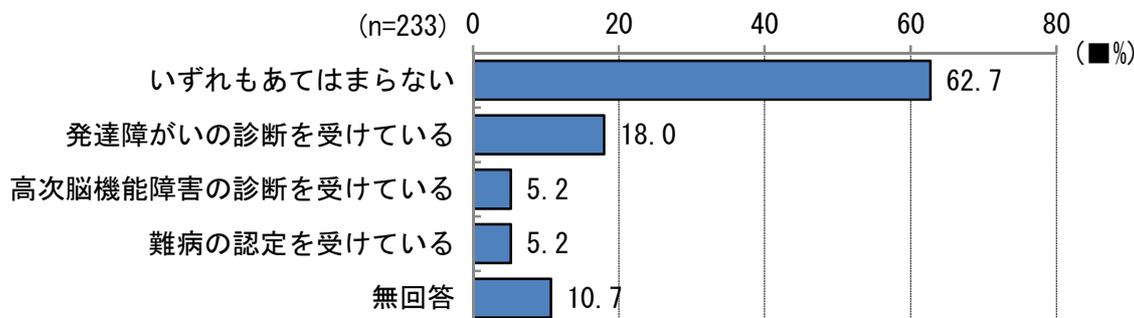
精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が56.5%と最も高く、次いで「3級」が26.1%、「1級」が17.4%となっています。



## 1-3 受けている診断や認定

問2 あなたは次の診断や認定を受けていますか。【あてはまるものすべてに○】

「いずれもあてはまらない」が62.7%と全体の半数以上を占めており、診断や認定を受けている場合の割合は「発達障がいの診断を受けている」が18.0%、「高次脳機能障害の診断を受けている」と「難病の認定を受けている」が共に5.2%と同じ割合となっています。



障がい者手帳等の所持率と診断・認定状況を合わせてみると、『療育手帳所持者』が全体的に高い割合を占めており、その中でも特に「発達障がいの診断を受けている」が52.1%と最も高くなっています。『身体障害者手帳所持者』と『精神障害者保健福祉手帳所持者』の認定状況は「いずれもあてはまらない」が共に70%を超す高い割合となっています。

### 【障がい種別】

	回答数	発達障がいの診断を受けている	高次脳機能障がいの診断を受けている	難病の認定を受けている	いずれもあてはまらない	無回答
全体	233	18.0	5.2	5.2	62.7	10.7
身体障害者手帳所持者	145	5.5	5.5	6.2	71.7	11.7
療育手帳所持者	73	52.1	4.1	2.7	32.9	11.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	8.7	13.0	4.3	73.9	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	8.3	100.0	8.3	0.0	0.0
難病の認定を受けている	12	8.3	8.3	100.0	8.3	0.0
発達障がいの診断を受けている	42	100.0	2.4	2.4	0.0	0.0

年齢8区別にみると、「発達障がいの診断を受けている」の割合はいずれも『0～6歳未満』が71.4%、『6～18歳未満』が76.9%、『18～29歳』が72.7%と30歳代以上の年代と比べると高くなっています。

### 【年齢8区分別】

	回答数	発達障がいの診断を受けている	高次脳機能障がいの診断を受けている	難病の認定を受けている	いずれもあてはまらない	無回答
全体	233	18.0	5.2	5.2	62.7	10.7
0～6歳未満	7	71.4	14.3	14.3	14.3	0.0
6～18歳未満	13	76.9	0.0	7.7	7.7	7.7
18～29歳	11	72.7	0.0	0.0	27.3	0.0
30歳代	8	62.5	12.5	0.0	12.5	25.0
40歳代	16	18.8	0.0	6.3	62.5	18.8
50歳代	20	20.0	10.0	5.0	55.0	10.0
60歳代	34	2.9	0.0	0.0	88.2	8.8
70歳以上	110	3.6	5.5	6.4	76.4	9.1

## 1-4 年齢

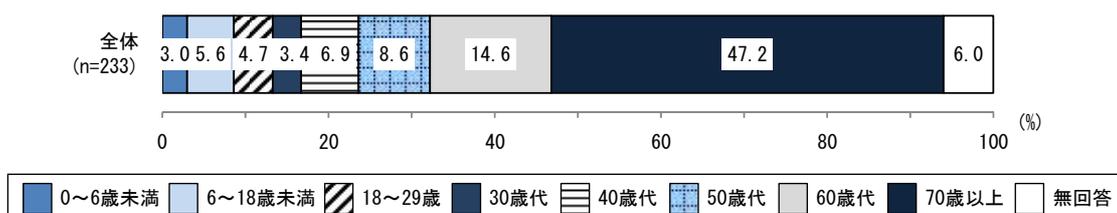
問3 あなたの年齢はおいくつですか。(令和5年2月1日現在)

年齢は「18歳以上」が88.8%と全体の約9割を占めており、「18歳未満」は8.6%となっています。



### 【年齢区分別】

年齢区分別にみると、「18歳以上」の中でも「70歳以上」が47.2%と最も高く、次いで「60歳代」が14.6%、「50歳代」が8.6%となっており、年代が上がる程に回答者の割合が多い結果となっています。また、「18歳未満」の中だと「6～18歳未満」が5.6%、次いで「0～6歳未満」が3.0%となっています。



障がい種別にみると、『身体障害者手帳所持者』、『高次脳機能障がいの診断を受けている』、『難病の認定を受けている』方の半数以上が「70歳以上」の高齢者となっており、一方『発達障がいの診断を受けている』方の割合は「6～18歳未満」が23.8%、「18～29歳」が19.0%と他の年代より高くなっています。

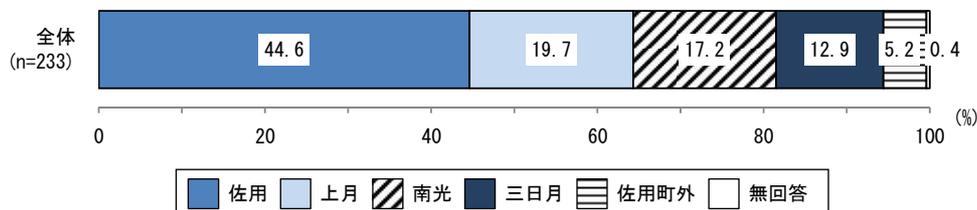
### 【障がい種別】

	回答数	0～6歳未満	6～18歳未満	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体	233	3.0	5.6	4.7	3.4	6.9	8.6	14.6	47.2	6
身体障害者手帳所持者	145	2.1	0.7	2.1	0.7	3.4	6.2	14.5	66.9	3.4
療育手帳所持者	73	6.8	16.4	12.3	9.6	15.1	12.3	5.5	15.1	6.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	4.3	0.0	8.7	4.3	13.0	26.1	30.4	8.7	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7
難病の認定を受けている	12	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	58.3	8.3
発達障がいの診断を受けている	42	11.9	23.8	19.0	11.9	7.1	9.5	2.4	9.5	4.8

## 1-5 所在地

問4 あなたのお住まいの地域はどちらですか。【1つに○】

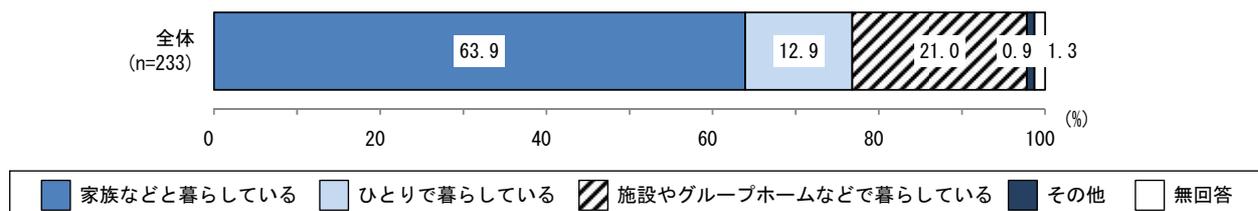
所在地は「佐用」が44.6%と最も高く、次いで「上月」が19.7%、「南光」が17.2%、「三日月」が12.9%となっています。



## 1-6 同居人

問5 あなたは、普段どなたと一緒に暮らしていますか。【1つに○】

主に「家族などと暮らしている」が63.9%と最も高く、次いで「施設やグループホームなどで暮らしている」が21.0%、「ひとりで暮らしている」が12.9%となっています。



障がい種別にみると『高次脳機能障がいの診断を受けている』を除く、6割以上が「家族などと暮らしている」を占めており、特に『療育手帳所持者』と『精神障害者保健福祉手帳所持者』は他の障がいを持つ方より高い割合で施設や家族のいる環境で暮らしている結果となっています。

### 【障がい種別】

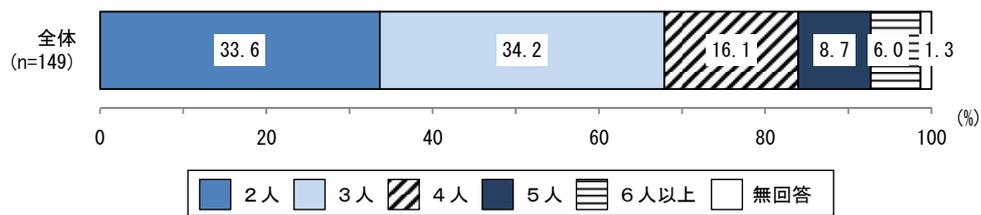
	回答数	家族などと暮らしている	施設やグループホームなどで暮らしている	ひとりで暮らしている	その他	無回答
全体	233	63.9	21.0	12.9	0.9	1.3
身体障害者手帳所持者	145	66.2	15.2	16.6	0.7	1.4
療育手帳所持者	73	61.6	31.5	6.8	0	0
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	52.2	39.1	8.7	0	0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	41.7	33.3	25.0	0	0
難病の認定を受けている	12	75.0	8.3	16.7	0	0
発達障がいの診断を受けている	42	76.2	19.0	4.8	0	0

「施設やグループホームなどで暮らしている」の中で特に高い割合なのが、『50歳代』の40.0%、次いで『60歳代』の35.3%と、他の年代の方より比較的高い割合となっています。『70歳以上』で最も高い項目は「家族などと暮らしている」の61.8%で、回答率の半数以上を占めています。

【年齢8区分別】

	回答数	家族などと暮らしている	施設やグループホームなどで暮らしている	ひとりで暮らしている	その他	無回答
全体	233	63.9	21.0	12.9	0.9	1.3
0～6歳未満	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
6～18歳未満	13	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	11	81.8	9.1	9.1	0.0	0.0
30歳代	8	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0
40歳代	16	75.0	18.8	6.3	0.0	0.0
50歳代	20	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	34	50.0	35.3	11.8	0.0	2.9
70歳以上	110	61.8	16.4	20.0	0.9	0.9

また、「家族などと暮らしている」と回答した方の同居人数は、回答者含め「3人」が34.2%、「2人」が33.6%とほぼ同じ割合になっており、次いで「4人」が16.1%となっています。



全体では「3人」の割合が高いですが、障がい種別でみると『身体障害者手帳所持者』は「2人」が42.7%と最も高く、『療育手帳所持者』は「3人」と「4人」が共に31.1%となっており、『発達障がいの診断を受けている』方は「4人」が37.5%と最も高いですが、次いで「5人」が25.0%と、障害種別によって差にばらつきが見受けられます。

**【障がい種別】**

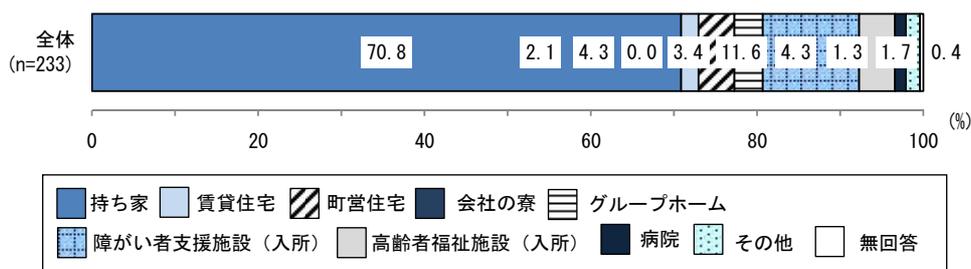
	回答数	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	149	33.6	34.2	16.1	8.7	6.0	1.3
身体障害者手帳所持者	96	42.7	35.4	11.5	5.2	4.2	1
療育手帳所持者	45	8.9	31.1	31.1	17.8	8.9	2.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	12	33.3	41.7	8.3	0.0	16.7	0
高次脳機能障がいの診断を受けている	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0
難病の認定を受けている	9	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0	0
発達障がいの診断を受けている	32	3.1	18.8	37.5	25.0	12.5	3.1

## 2 現在の生活について

### 2-1 現在の暮らし方

問6 あなたの普段のお住まい、あるいは暮らしているのはどこですか。【1つに○】

居住地については、「持ち家」が70.8%と全体の大多数を占めており、次いで「障がい者支援施設（入所）」が11.6%、「町営住宅」と「高齢者福祉施設（入所）」が同じ割合で4.3%となっています。



障がい種別でも全体的に「持ち家」が高い割合となっており、『身体障害者手帳所持者』と『難病の認定を受けている』は他の項目に比べ8割を占めています。「グループホーム」の割合は『精神障害者保健福祉手帳所持者』が17.4%と、他の障がいを持つ方より高い割合となっています。

#### 【障がい種別】

	回答数	持ち家	障がい者支援施設（入所）	町営住宅	高齢者福祉施設（入所）	グループホーム	賃貸住宅	病院	会社の寮	その他	無回答
全体	233	70.8	11.6	4.3	4.3	3.4	2.1	1.3	0.0	1.7	0.4
身体障害者手帳所持者	145	80.7	6.2	2.1	6.2	1.4	1.4	0.7	0.0	1.4	0.0
療育手帳所持者	73	56.2	24.7	9.6	1.4	4.1	2.7	0.0	0.0	1.4	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	47.8	17.4	4.3	0.0	17.4	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	58.3	16.7	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病の認定を受けている	12	83.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
発達障がいの診断を受けている	42	64.3	16.7	11.9	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	2.4	0.0

年齢8区分別にみると「障がい者支援施設（入所）」の割合は『0～6歳未満』が28.6%、『60歳代』が29.4%と他の年代の方より高くなっており、一方で『70歳以上』が7.3%と低い割合となっています。

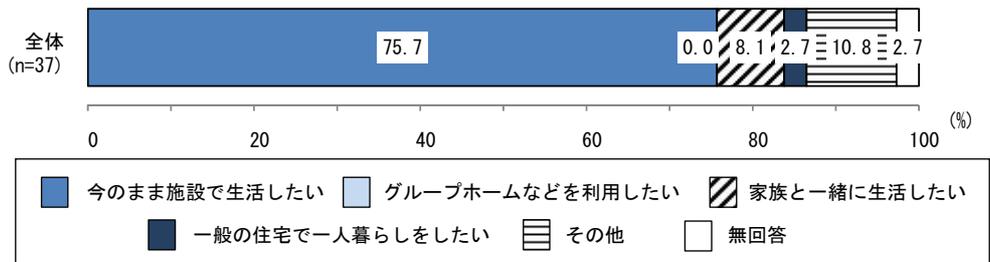
【年齢8区分別】

	回答数	持ち家	障がい者支援施設（入所）	町営住宅	高齢者福祉施設（入所）	グループホーム	賃貸住宅	病院	会社の寮	その他	無回答
全体	233	70.8	11.6	4.3	4.3	3.4	2.1	1.3	0.0	1.7	0.4
0～6歳未満	7	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
6～18歳未満	13	84.6	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	11	90.9	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	8	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	16	75.0	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50歳代	20	50.0	15.0	10.0	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
60歳代	34	55.9	29.4	0.0	0.0	5.9	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0
70歳以上	110	79.1	7.3	1.8	7.3	0.0	0.9	0.9	0.0	2.7	0.0

## 2-2 今後の暮らし方

問7 あなたは将来、どのように暮らしたいですか。【1つに○】

今後の暮らし方については「今のまま施設で生活したい」が75.7%と最も高く、「家族と一緒に生活したい」が8.1%、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が2.7%となっています。また「グループホームなどを利用したい」と希望する方はほぼ0.0%で、「その他」を選んだ方は10.8%と「家族と一緒に生活したい」を上回る結果となっています。



全体的に「今のまま施設で生活したい」の割合が6割以上を占めており、「家族と一緒に生活したい」においては『療育手帳所持者』が5.3%と他の障がいを持つ方より低い割合となっています。

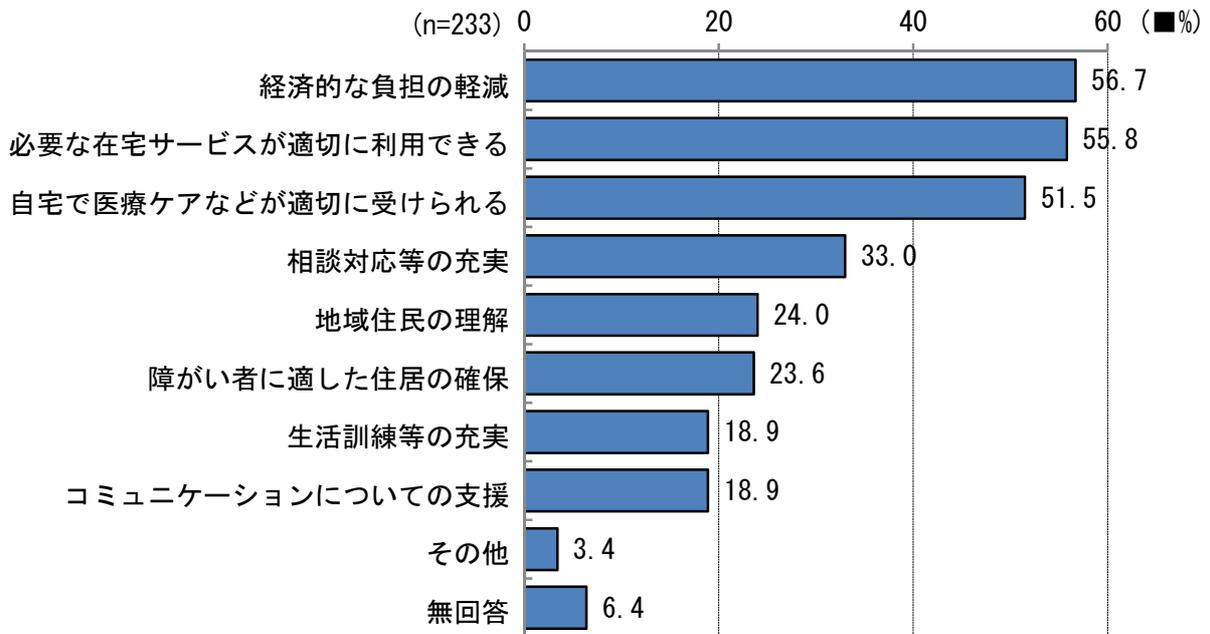
### 【障がい種別】

	回答数	今のまま施設で生活したい	家族と一緒に生活したい	一般の住宅で一人暮らしをしたい	グループホームなどを利用したい	その他	無回答
全体	37	75.7	8.1	2.7	0.0	10.8	2.7
身体障害者手帳所持者	18	77.8	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0
療育手帳所持者	19	68.4	5.3	0.0	0.0	21.1	5.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病の認定を受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がいの診断を受けている	7	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0

### 2-3 地域に求める支援

問8 施設に入所せず地元で生活するために、どのような支援があればいいですか。【あてはまるものすべてに○】

地域に求める支援は「経済的な負担の軽減」が56.0%と高いが、「必要な在宅サービスが適切に利用できる」も55.8%と共に高い割合となっています。次いで「自宅で医療ケアなどが適切に受けられる」が51.5%、「相談対応等の充実」が33.0%となっています。



障がい種別でも主に「経済的な負担の減少」、「必要な在宅サービスが適切に利用できる」、「自宅で医療ケアなどが適切に受けられる」が、他の項目より高い割合を占めています。特に『精神障害者保健福祉手帳所持者』は「経済的な負担の減少」が60.9%と、他の項目に比べ最も高くなっています。

#### 【障がい種別】

	回答数	経済的な負担の軽減	必要な在宅サービスが	自宅で医療ケアなどが	相談対応等の充実	地域住民の理解	障がい者に適した住居	生活訓練等の充実	コミュニケーションに	その他	無回答
全体	233	56.7	55.8	51.5	33.0	24.0	23.6	18.9	18.9	3.4	6.4
身体障害者手帳所持者	145	53.8	57.9	62.1	29.0	17.9	20.7	16.6	13.1	4.1	6.2
療育手帳所持者	73	57.5	56.2	37.0	41.1	34.2	31.5	26.0	28.8	5.5	6.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	60.9	39.1	30.4	26.1	30.4	21.7	13.0	21.7	4.3	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	41.7	50.0	50.0	33.3	33.3	25.0	33.3	25.0	16.7	8.3
難病の認定を受けている	12	83.3	83.3	75.0	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	8.3	8.3
発達障がいの診断を受けている	42	54.8	54.8	33.3	50.0	33.3	26.2	38.1	35.7	4.8	4.8

「自宅で医療ケアなどが適切に受けられる」の中で『70歳以上』が65.5%と最も高い割合ですが、『18～29歳』は9.1%とどの項目よりも低く、年代によって割合に大きな差があります。また「障がい者に適した住居の確保」と「生活訓練の充実」においては『0～6歳未満』が共に70%以上と、他の年代の方よりも高い割合となっています。

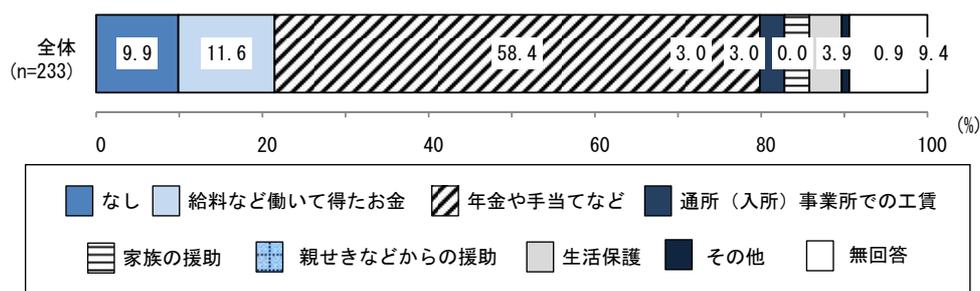
### 【年齢8区分別】

	回答数	経済的な負担の軽減	適切に必要な在宅サービスが	自宅で医療ケアなどが	相談対応等の充実	地域住民の理解	障がい者に適した住居の確保	生活訓練等の充実	コミュニケーションに	その他	無回答
全体	233	56.7	55.8	51.5	33.0	24.0	23.6	18.9	18.9	3.4	6.4
0～6歳未満	7	71.4	71.4	42.9	57.1	42.9	71.4	85.7	42.9	0.0	0.0
6～18歳未満	13	53.8	30.8	23.1	61.5	38.5	7.7	30.8	30.8	0.0	15.4
18～29歳	11	36.4	54.5	9.1	45.5	45.5	36.4	45.5	54.5	18.2	0.0
30歳代	8	75.0	87.5	50.0	50.0	12.5	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0
40歳代	16	62.5	68.8	50.0	31.3	25.0	31.3	12.5	12.5	0.0	6.3
50歳代	20	75.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	5.0	20.0	0.0	5.0
60歳代	34	58.8	55.9	47.1	35.3	23.5	32.4	11.8	14.7	0.0	5.9
70歳以上	110	55.5	60.0	65.5	28.2	20.0	16.4	15.5	15.5	4.5	4.5

### 2-4-1 主な収入

問9-1 あなたの主な収入はどれですか。【主なもの1つに○】

主な収入源は無回答を除くと「年金や手当など」が58.4%と国からの援助が最も高く、次いで「給料など働いて得たお金」が11.6%、「なし」と回答した方は9.9%となっています。



障がい種別にみると『身体障害者手帳所持者』は「年金や手当など」が70.3%と他の項目と比べ最も高く、『発達障がいの診断を受けている』は「なし」が38.1%と最も高く、障がいの種類によって大きく差があることが分かります。

【障がい種別】

	回答数	年金や手当など	金給料など働いて得たお	生活保護	の通所（入所）事業所で	家族の援助	親せきなどからの援助	なし	その他	無回答
全体	233	58.4	11.6	3.9	3.0	3.0	0.0	9.9	0.9	9.4
身体障害者手帳所持者	145	70.3	10.3	2.8	0.7	2.8	0.0	1.4	1.4	10.3
療育手帳所持者	73	42.5	9.6	1.4	5.5	2.7	0.0	27.4	0.0	11.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	34.8	21.7	21.7	4.3	8.7	0.0	8.7	0.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	25.0	8.3	0.0	25.0	8.3	0.0	8.3	8.3	16.7
難病の認定を受けている	12	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	33.3
発達障がいの診断を受けている	42	28.6	11.9	2.4	7.1	2.4	0.0	38.1	0.0	9.5

年齢8区分別にみると、『18～29歳』の中で最も高い割合が「給料など働いて得たお金」の45.5%で、他の年代の方と比較しても最も高い割合となっています。「通所（入所）事業所での工賃」においては『50歳代』が15.0%と他の年代の方より高い割合となっています。

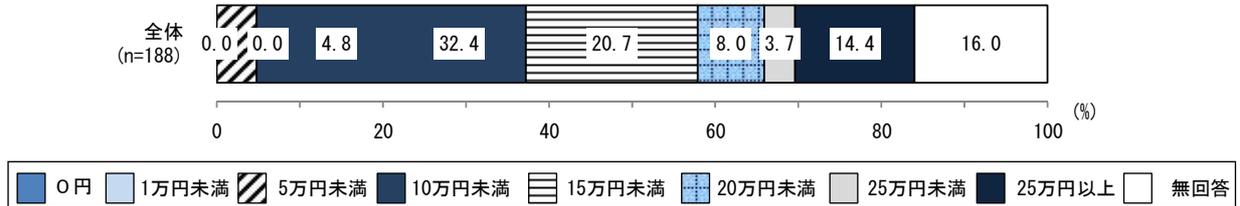
【年齢8区分別】

	回答数	年金や手当など	金給料など働いて得たお	生活保護	の通所（入所）事業所で	家族の援助	親せきなどからの援助	その他	なし	無回答
全体	233	58.4	11.6	3.9	3.0	3.0	0.0	0.9	9.9	9.4
0～6歳未満	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6
6～18歳未満	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3	0.0
18～29歳	11	18.2	45.5	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1
30歳代	8	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
40歳代	16	50.0	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8
50歳代	20	35.0	25.0	10.0	15.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0
60歳代	34	52.9	11.8	11.8	2.9	8.8	0.0	0.0	5.9	5.9
70歳以上	110	82.7	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0	1.8	0.0	10.0

## 2-4-2 平均収入額

問9-2 あなたの平均の月収の総額はいくらか、お答えください。(年金や手当を含む)

「なし」と回答した方以外の平均の月収は「10万円未満」が32.4%、次いで「15万円未満」が20.7%、「25万円以上」が14.4%となっています。



無回答を除く障がい種別の平均月収は全体的に「10万円未満」が20%~40%台と高くなっています。また、「15万円未満」の割合は障がい種別でみるといずれも約2割程となっています。月収が20万円以上の割合は『身体障害者手帳所持者』の「25万円以上」が20.3%と最も高いですが、他の障がいを持つ方々の割合は20%を満たしていません。

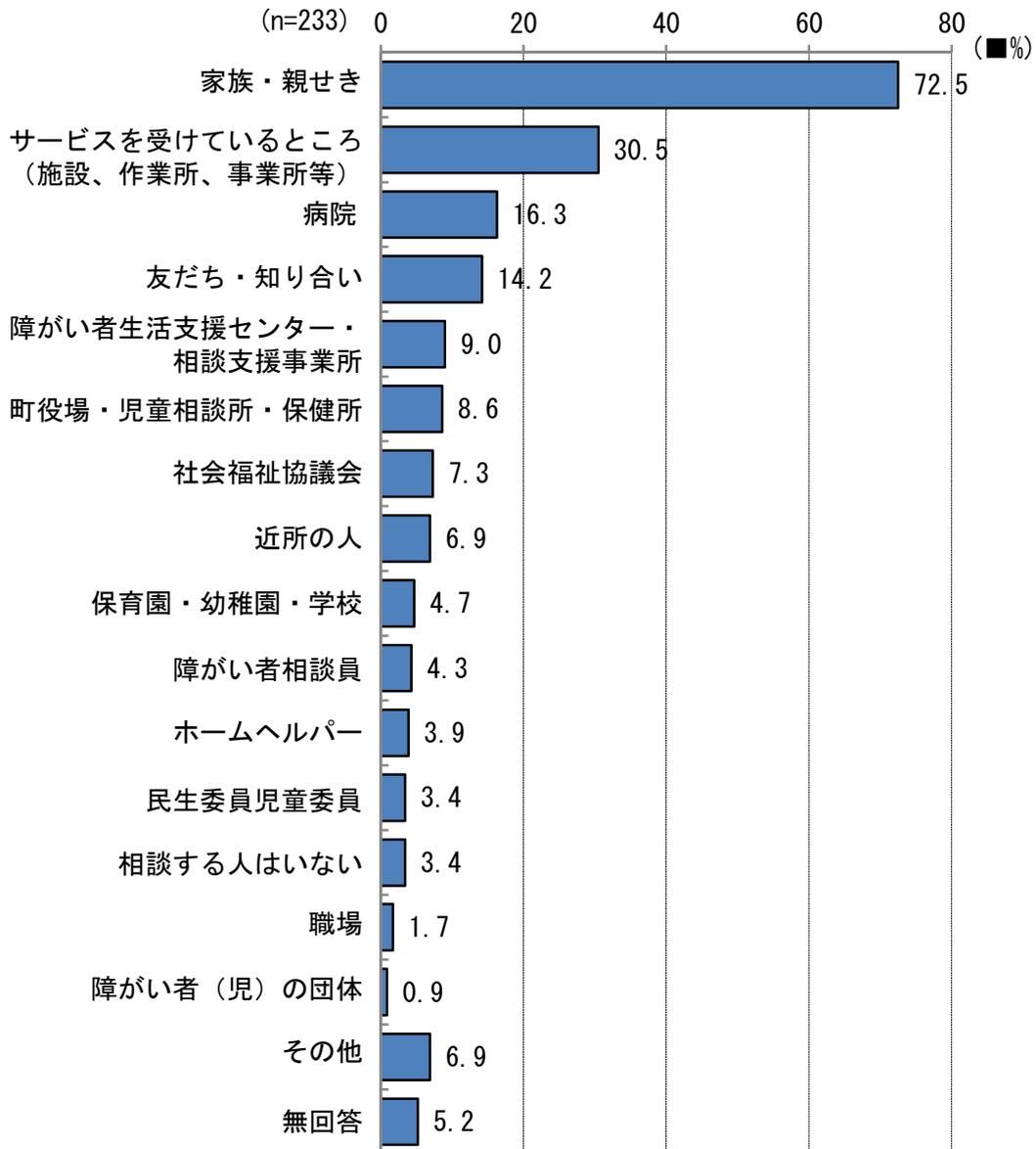
### 【障がい種別】

	回答数	0円	1万円未満	5万円未満	10万円未満	15万円未満	20万円未満	25万円未満	25万円以上	無回答
全体	188	0.0	0.0	4.8	32.4	20.7	8.0	3.7	14.4	16.0
身体障害者手帳所持者	128	0.0	0.0	4.7	25.8	21.1	11.7	4.7	20.3	11.7
療育手帳所持者	45	0.0	0.0	6.7	48.9	20.0	0.0	0.0	4.4	20.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	21	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0	4.8	23.8
高次脳機能障がいの診断を受けている	9	0.0	0.0	22.2	44.4	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0
難病の認定を受けている	7	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6
発達障がいの診断を受けている	22	0.0	0.0	4.5	40.9	22.7	0.0	0.0	4.5	27.3

## 2-5 相談相手

問10 あなたが悩みや困ったことを相談するのはどなたですか。【あてはまるものすべてに○】

相談相手は「家族・親せき」が72.5%と全体に対し高い割合を占めており、次いで「サービスを受けているところ（施設、作業所、事業所等）」が30.5%、「病院」が16.3%となっています。



「サービスを受けているところ（施設、作業所、事業所等）」は『療育手帳所持者』が54.8%と他の障がいを持つ方よりも高いですが、『身体障害者手帳所持者』は17.2%と低い割合となっています。また「病院」においては、『精神障害者保健福祉手帳所持者』が30.4%と最も高くなっています。

【障がい種別】

	回答数	家族・親せき	サービスを受けているところ（施設、作業所等）	病院	友だち・知り合い	障がい者生活支援センター・相談支援事業所	町役場・児童相談所・保健所	社会福祉協議会	近所の人
全体	233	72.5	30.5	16.3	14.2	9.0	8.6	7.3	6.9
身体障害者手帳所持者	145	77.9	17.2	17.2	13.8	5.5	9.0	9.0	7.6
療育手帳所持者	73	58.9	54.8	6.8	15.1	17.8	12.3	4.1	1.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	69.6	39.1	30.4	13.0	26.1	8.7	4.3	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	66.7	41.7	16.7	25.0	25.0	16.7	16.7	25.0
難病の認定を受けている	12	66.7	25.0	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がいの診断を受けている	42	64.3	50.0	7.1	19.0	23.8	16.7	4.8	0.0
	回答数	保育園・幼稚園・学校	障がい者相談員	ホームヘルパー	民生委員児童委員	職場	相談する人はいない	その他	無回答
全体	233	4.7	4.3	3.9	3.4	1.7	3.4	6.9	5.2
身体障害者手帳所持者	145	0.7	4.1	4.8	4.8	0.7	4.1	7.6	6.9
療育手帳所持者	73	15.1	4.1	2.7	2.7	1.4	4.1	6.8	2.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
難病の認定を受けている	12	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	8.3
発達障がいの診断を受けている	42	23.8	0.0	2.4	4.8	2.4	2.4	4.8	4.8

年齢別にみると『0～6歳未満』の中で最も高い割合が「サービスを受けているところ（施設、作業所、事業所等）」の57.1%で、他の年代と比較しても高い割合となっています。全体の割合が高い「家族・親せき」においては、50%以上の割合を占める他の年代の方と比較して『0～6歳未満』が28.6%と低い割合となっています。

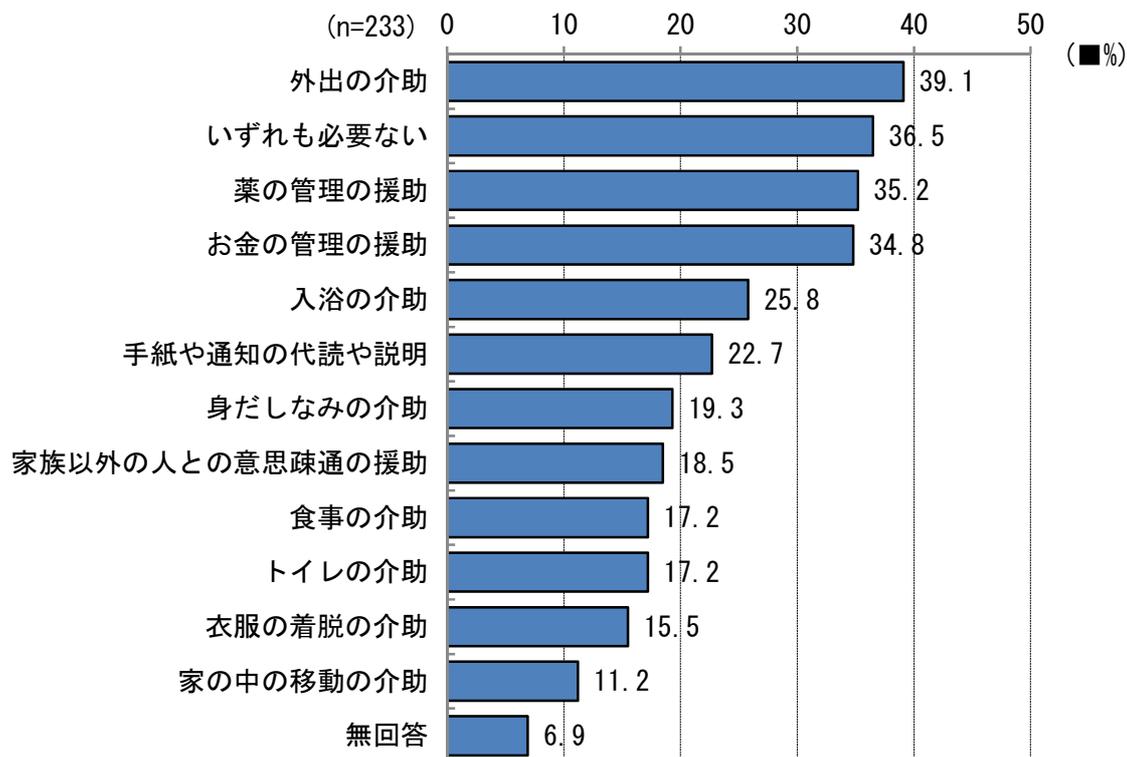
【年齢8区分別】

	回答数	家族・親せき	所とサー サービス （施設、 事業所等） を受けて 作業 している	病院	友だち・知り合い	障 が い 者 生 活 支 援 セ ン ター ・ 相 談 支 援 事 業 所	保 健 所 ・ 児 童 相 談 所	社 会 福 祉 協 議 会	近 所 の 人
全体	233	72.5	30.5	16.3	14.2	9.0	8.6	7.3	6.9
0～6歳未満	7	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
6～18歳未満	13	100.0	46.2	15.4	38.5	7.7	0.0	0.0	0.0
18～29歳	11	72.7	27.3	0.0	27.3	36.4	18.2	0.0	0.0
30歳代	8	75.0	37.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0
40歳代	16	62.5	50.0	18.8	6.3	25.0	6.3	6.3	0.0
50歳代	20	80.0	50.0	5.0	25.0	20.0	20.0	5.0	5.0
60歳代	34	58.8	35.3	20.6	14.7	2.9	2.9	5.9	5.9
70歳以上	110	80.9	20.0	18.2	10.0	3.6	8.2	10.0	10.0
	回答数	保 育 園 ・ 幼 稚 園 ・ 学 校	障 が い 者 相 談 員	ホ ー ム ヘル パー	民 生 委 員 児 童 委 員	相 談 す る 人 は い な い	職 場	そ の 他	無 回 答
全体	233	4.7	4.3	3.9	3.4	3.4	1.7	6.9	5.2
0～6歳未満	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
6～18歳未満	13	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
30歳代	8	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
40歳代	16	0.0	12.5	0.0	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0
50歳代	20	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	34	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	2.9	8.8	2.9
70歳以上	110	0.0	3.6	7.3	3.6	3.6	0.0	8.2	7.3

## 2-6 暮らしにおける必要な支援

問11 あなたの日常生活の中で、次のうち介助や支援が必要なものはありますか。【あてはまるものすべてに○】

「いずれも必要ない」が36.5%となっており、支援を求める場合としては「外出の介助」が39.1%と最も高くなっています。次いで「薬の管理の援助」が35.2%、「お金の管理の援助」が34.8%とどれも同じような割合になっています。



障がい種別でみると、援助を求める場合として割合の高い「外出の介護」、「お金の管理の援助」、「薬の管理の援助」はいずれも『療育手帳所持者』が最も高く、それぞれ 60%以上の割合となっています。また『発達障がいの診断を受けている』方も「外出の介護」、「お金の管理の援助」、「薬の管理の援助」はそれぞれ 50%以上を占めており、他の障がいを持つ方より高くなっています。

【障がい種別】

	回答数	食事の介助	トイレの介助	入浴の介助	衣服の着脱の介助	身だしなみの介助	家の中の移動の介助	外出の介助
全体	233	17.2	17.2	25.8	15.5	19.3	11.2	39.1
身体障害者手帳所持者	145	18.6	15.2	27.6	17.2	15.2	13.1	33.8
療育手帳所持者	73	27.4	32.9	37.0	24.7	41.1	17.8	61.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	4.3	8.7	8.7	4.3	8.7	4.3	34.8
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	25.0	8.3	33.3	16.7	8.3	16.7	33.3
難病の認定を受けている	12	33.3	16.7	33.3	25.0	25.0	16.7	58.3
発達障がいの診断を受けている	42	28.6	35.7	40.5	28.6	40.5	19.0	57.1
	回答数	家族以外の人の意思疎通の援助	明手紙や通知の代読や説	お金の管理の援助	薬の管理の援助	いずれも必要ない	無回答	
全体	233	18.5	22.7	34.8	35.2	36.5	6.9	
身体障害者手帳所持者	145	11.0	17.2	23.4	25.5	42.1	9.7	
療育手帳所持者	73	39.7	45.2	65.8	64.4	15.1	2.7	
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	17.4	8.7	39.1	34.8	39.1	4.3	
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	16.7	33.3	41.7	58.3	16.7	0.0	
難病の認定を受けている	12	16.7	16.7	25.0	33.3	33.3	8.3	
発達障がいの診断を受けている	42	42.9	42.9	57.1	59.5	19.0	2.4	

年齢別にみると「家族以外の人との意思疎通の援助」の『70歳以上』の方は他の年代の方が10%を超える中、8.2%と低い割合となっています。また、「外出の介護」においては、『40歳代』が68.8%に対し『50歳代』は25.0%と割合に大きな差があります。

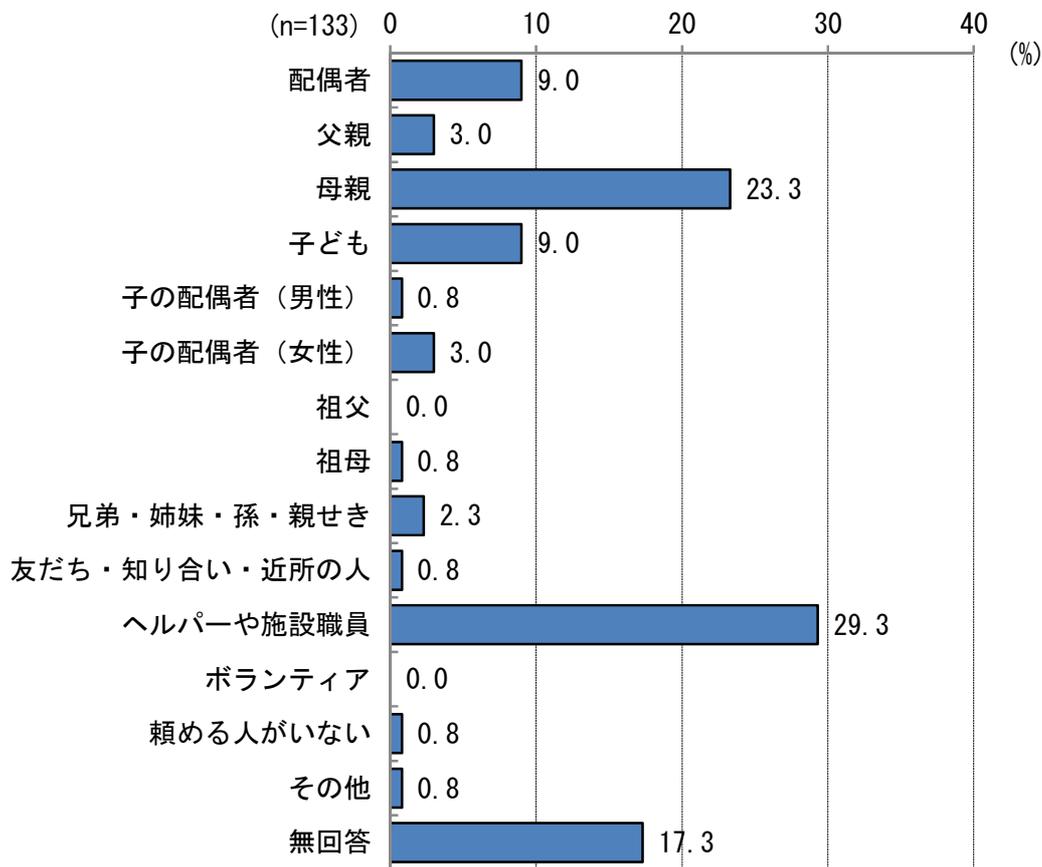
【年齢8区分別】

	回答数	外出の介護	薬の管理の援助	お金の管理の援助	入浴の介護	明手紙や通知の代読や説明	身だしなみの介護	疎通の援助 家族以外の人との意思
全体	233	39.1	35.2	34.8	25.8	22.7	19.3	18.5
0～6歳未満	7	71.4	85.7	71.4	85.7	57.1	71.4	57.1
6～18歳未満	13	38.5	69.2	53.8	23.1	30.8	30.8	38.5
18～29歳	11	54.5	36.4	54.5	18.2	45.5	36.4	36.4
30歳代	8	62.5	62.5	50.0	50.0	37.5	50.0	37.5
40歳代	16	68.8	43.8	62.5	25.0	31.3	37.5	31.3
50歳代	20	25.0	35.0	35.0	20.0	25.0	15.0	25.0
60歳代	34	29.4	29.4	35.3	20.6	14.7	17.6	17.6
70歳以上	110	37.3	27.3	23.6	24.5	19.1	10.0	8.2
	回答数	食事の介護	トイレの介護	衣服の着脱の介護	家の中の移動の介護	いずれも必要ない	無回答	
全体	233	17.2	17.2	15.5	11.2	36.5	6.9	
0～6歳未満	7	42.9	57.1	71.4	28.6	0.0	0.0	
6～18歳未満	13	15.4	15.4	7.7	0.0	23.1	0.0	
18～29歳	11	18.2	18.2	18.2	18.2	36.4	0.0	
30歳代	8	37.5	37.5	37.5	25.0	25.0	0.0	
40歳代	16	31.3	25.0	18.8	18.8	18.8	0.0	
50歳代	20	15.0	15.0	10.0	10.0	40.0	5.0	
60歳代	34	14.7	11.8	11.8	8.8	55.9	8.8	
70歳以上	110	13.6	13.6	12.7	10.0	35.5	10.9	

## 2-6-1 主な介助者

問12 あなたの主な介助者（日常生活の支援をしてくれる方）はどなたですか。（問11で「1」から「11」を1つでも回答された方におたずねします。）【主なもの1つに○】

無回答を除くと、主な介助者は「ヘルパーや施設職員」が29.3%と最も高く、次いで「母親」が23.3%、「配偶者」と「子ども」共に9.0%と同じ割合になっています。



全体的に割合が高い「ヘルパーや施設職員」の中でも、『精神障害者保健福祉手帳所持者』が46.2%と最も高くなっています。次いで割合の高い「母親」は、『発達障がい診断を受けている』が51.5%と最も高い一方で、『身体障害者手帳所持者』は8.5%と低く、障がい種別で割合に大きく差が出ます。

【障がい種別】

	回答数	ヘルパーや施設職員	母親	配偶者	子ども	父親	子の配偶者(女性)	兄弟・姉妹・孫・親せき
全体	133	29.3	23.3	9.0	9.0	3.0	3.0	2.3
身体障害者手帳所持者	71	25.4	8.5	16.9	16.9	0.0	5.6	1.4
療育手帳所持者	60	35.0	43.3	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	13	46.2	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7
高次脳機能障がいの診断を受けている	10	30.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
難病の認定を受けている	7	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がいの診断を受けている	33	21.2	51.5	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0
	回答数	子の配偶者(男性)	祖母	所友の だち・ 知り 合い・ 近	祖父	ボラン ティア	頼 める 人 が い な い	無 回 答
全体	133	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	0.8	17.3
身体障害者手帳所持者	71	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	18.3
療育手帳所持者	60	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
高次脳機能障がいの診断を受けている	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
難病の認定を受けている	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
発達障がいの診断を受けている	33	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2

年齢別でみると「母親」の中でも『6～18歳』の80.0%に次いで、『40歳代』が69.2%と他の年代の方より高い割合となっています。『60歳代』の割合は「ヘルパーや施設職員」が58.3%に対し、「母親」が8.3%と割合に大きな差があります。

【年齢別8区分】

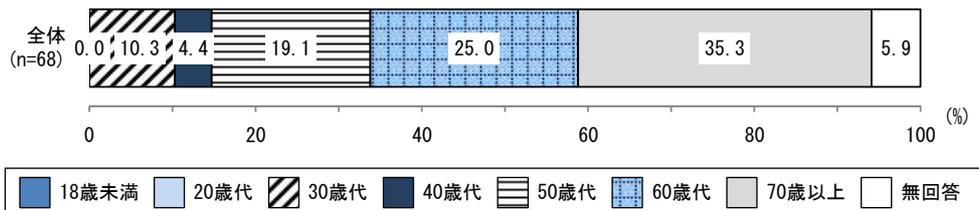
	回答数	ヘルパーや施設職員	母親	配偶者	子ども	父親	子の配偶者(女性)	兄弟・姉妹・孫・親せき
全体	133	29.3	23.3	9.0	9.0	3.0	3.0	2.3
0～6歳未満	7	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6～18歳未満	10	0.0	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	7	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	6	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
40歳代	13	15.4	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50歳代	11	54.5	36.4	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
60歳代	12	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
70歳以上	60	30.0	0.0	16.7	20.0	0.0	6.7	0.0
	回答数	子の配偶者(男性)	祖母	所友の だち・ 知り 合い・ 近	祖父	ボ ラン テイ ア	頼 め る 人 が い な い	無 回 答
全体	133	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	0.8	17.3
0～6歳未満	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
6～18歳未満	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
18～29歳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
30歳代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
40歳代	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
50歳代	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
70歳以上	60	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	20.0

## 2-6-2 介助者の年齢と健康状態

問13 あなたの介助・支援してくれる方の年齢、健康状態をお答えください。(問12で「1」から「9」を回答された方におたずねします。)

### ①年齢

年齢別で見ると、「70歳以上」が35.3%と最も高く、次いで「60歳代」が25.0%、「50歳代」が19.1%と介助・支援する半数以上が50歳以上となっています。



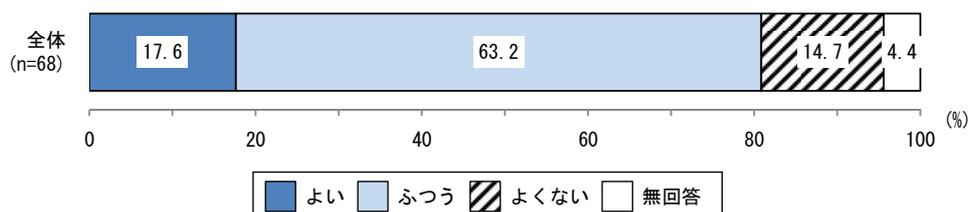
障がい種別で見ると、「70歳以上」の中でも『精神障害者保健福祉手帳所持者』が83.3%と最も高く、割合の8割以上を占めています。「40歳代」においては『難病の認定を受けている』が33.3%と高く、「30歳代」は『発達障がいの診断を受けている』が35.0%と最も高い割合となっています。また、『身体障害者手帳所持者』の割合は「50歳代」から「60歳代」、「70歳以上」と年齢が進むにつれ、高くなっています。

### 【障がい種別】

	回答数	18歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体	68	0.0	0.0	10.3	4.4	19.1	25.0	35.3	5.9
身体障害者手帳所持者	37	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2	32.4	45.9	5.4
療育手帳所持者	30	0.0	0.0	23.3	10.0	23.3	16.7	16.7	10.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0
難病の認定を受けている	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
発達障がいの診断を受けている	20	0.0	0.0	35.0	10.0	25.0	10.0	5.0	15.0

## ②健康状態

介助者の健康状態は「ふつう」が63.2%と最も高く、次いで「よい」が17.6%、「よくない」が14.7%となっています。



### 2-7-1 差別・偏見の有無

問14 あなたは日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を感じることはありませんか。【1つに○】

差別や偏見の有無については「ほとんど感じない」が39.5%と最も高く、次いで「まったく感じない」が23.2%と全体の半数以上が差別や偏見を感じないという結果になっています。また差別・偏見を感じると回答した方は「ときどき感じる」が18.5%、「よく感じる」が4.3%となっています。



障がい種別でみると差別や偏見の有無に対し、「よく感じる」と回答した方の割合は『精神障害者保健福祉手帳所持者』が 13.0%と最も高くなっています。全体的に最も割合の高い、「ほとんど感じない」の割合は『難病の認定を受けている』方が 8.3%と他の障がいを持つ方に比べ低いですが、ほとんどが 30%～50%の割合で高くなっています。

【障がい種別】

	回答数	ほとんど感じない	まったく感じない	ときどき感じる	よく感じる	無回答
全体	233	39.5	23.2	18.5	4.3	14.6
身体障害者手帳所持者	145	40.7	25.5	15.2	2.8	15.9
療育手帳所持者	73	39.7	16.4	23.3	4.1	16.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	47.8	17.4	21.7	13.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	50.0	0.0	41.7	0.0	8.3
難病の認定を受けている	12	8.3	25.0	41.7	8.3	16.7
発達障がいの診断を受けている	42	47.6	14.3	23.8	2.4	11.9

「ときどき感じる」の割合は『6～18歳』が 38.5%、『18～29歳』が 45.5%と若い年代の方が多く、「よく感じる」の割合は『30歳代』が 12.5%、『40歳代』が 18.8%とミドル世代に多くなっています。

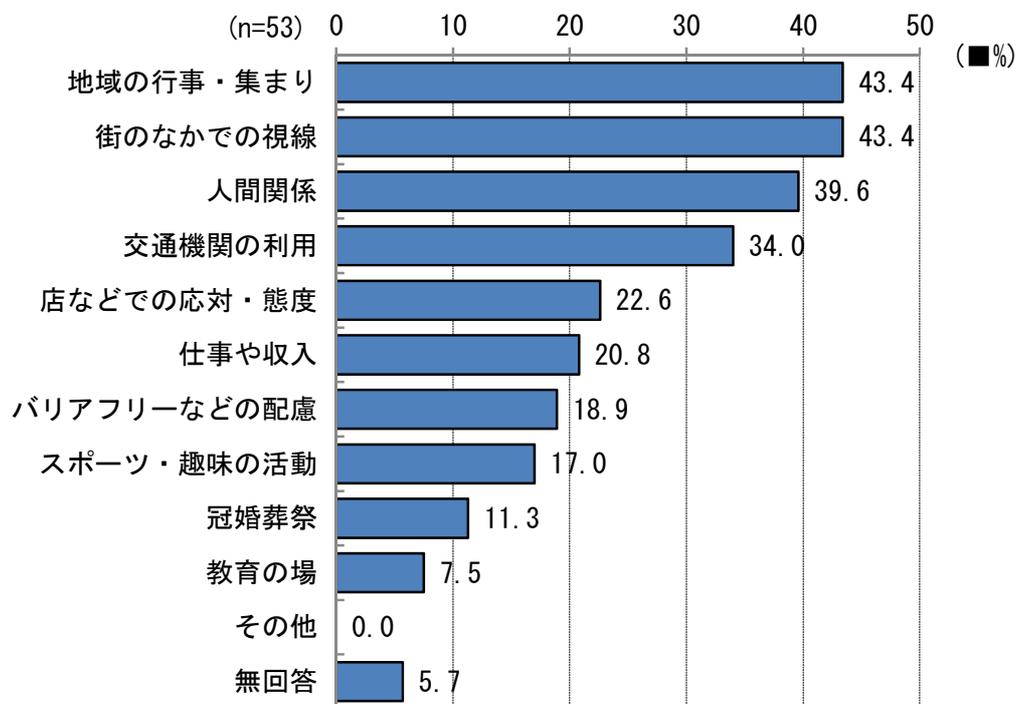
【年齢8区分別】

	回答数	ほとんど感じない	まったく感じない	ときどき感じる	よく感じる	無回答
全体	233	39.5	23.2	18.5	4.3	14.6
0～6歳未満	7	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
6～18歳未満	13	30.8	30.8	38.5	0.0	0.0
18～29歳	11	36.4	18.2	45.5	0.0	0.0
30歳代	8	50.0	12.5	0.0	12.5	25.0
40歳代	16	31.3	12.5	18.8	18.8	18.8
50歳代	20	40.0	15.0	20.0	5.0	20.0
60歳代	34	50.0	14.7	11.8	8.8	14.7
70歳以上	110	36.4	31.8	16.4	0.9	14.5

## 2-7-2 差別を受けた場面

問14-1 どのようなときにそれを感じましたか。(問14で「1」「2」を選んだ方におたずねします。【あてはまるものすべてに○】)

差別・偏見を受けた場面は「地域の行事・集まり」と「街のなかでの視線」が43.4%と同じ割合で最も高く、次いで「人間関係」が39.6%、「交通機関の利用」が34.0%となっています。



全体でみると「地域の行事・集まり」と「街のなかでの視線」の割合は同じですが、障がい種別でみると、「街のなかでの視線」は、『療育手帳所持者』が65.0%、『精神障害者保健福祉手帳所持者』が50.0%、『発達障がいの診断を受けている』が63.6%と、いずれも5～6割を超える割合となっています。また、「人間関係」の中で『精神障害者保健福祉手帳所持者』が75.0%と、他の障がいを持つ方よりも高い割合となっています。

【障がい種別】

	回答数	地域の行事・集まり	街のなかでの視線	人間関係	交通機関の利用	店などでの対応・態度	仕事や収入
全体	53	43.4	43.4	39.6	34.0	22.6	20.8
身体障害者手帳所持者	26	42.3	30.8	26.9	38.5	23.1	23.1
療育手帳所持者	20	40.0	65.0	45.0	45.0	45.0	10.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	8	37.5	50.0	75.0	12.5	0.0	25.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	5	40.0	40.0	40.0	0.0	20.0	40.0
難病の認定を受けている	6	33.3	16.7	50.0	33.3	0.0	50.0
発達障がいの診断を受けている	11	36.4	63.6	36.4	45.5	54.5	0.0
	回答数	慮バリアフリーなどの配	スポーツ・趣味の活動	冠婚葬祭	教育の場	その他	無回答
全体	53	18.9	17.0	11.3	7.5	0.0	5.7
身体障害者手帳所持者	26	30.8	19.2	7.7	3.8	0.0	11.5
療育手帳所持者	20	20.0	15.0	15.0	10.0	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	8	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
難病の認定を受けている	6	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
発達障がいの診断を受けている	11	27.3	18.2	27.3	18.2	0.0	0.0

「街のなかでの視線」の割合が各年代 40%台を超える中、『70 歳以上』は 26.3%と低い割合となっています。「人間関係」においては、『60 歳代』が 85.7%と最も高い割合となっています。

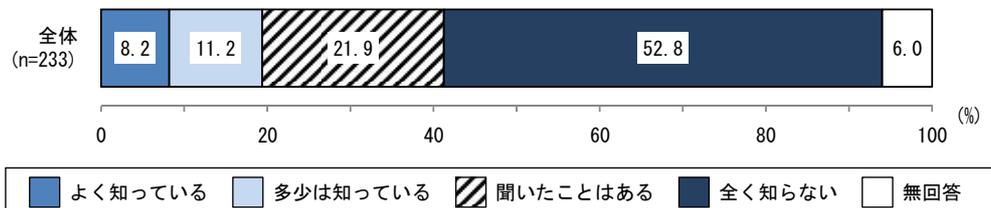
【年齢 8 区分別】

	回答数	地域の行事・集まり	街のなかでの視線	人間関係	交通機関の利用	店などでの対応・態度	仕事や収入	慮	バリアフリーなどの配	スポーツ・趣味の活動	冠婚葬祭	教育の場	その他	無回答
全体	53	43.4	43.4	39.6	34.0	22.6	20.8	18.9	17.0	11.3	7.5	0.0	5.7	
0～6歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6～18歳未満	5	40.0	40.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	
18～29歳	5	20.0	60.0	20.0	40.0	80.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30歳代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
40歳代	6	50.0	66.7	33.3	66.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	
50歳代	5	20.0	60.0	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
60歳代	7	42.9	42.9	85.7	28.6	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	
70歳以上	19	57.9	26.3	31.6	36.8	15.8	10.5	26.3	21.1	10.5	0.0	0.0	10.5	

2-8 「合理的配慮」についての認知度

問 15 あなたは「合理的配慮」ということばを知っていますか。【1つに○】

「合理的配慮」ということばについては、「全く知らない」が 52.8%と全体の半数以上を占めており、次いで「聞いたことはある」が 21.9%、「多少は知っている」が 11.2%となっています。

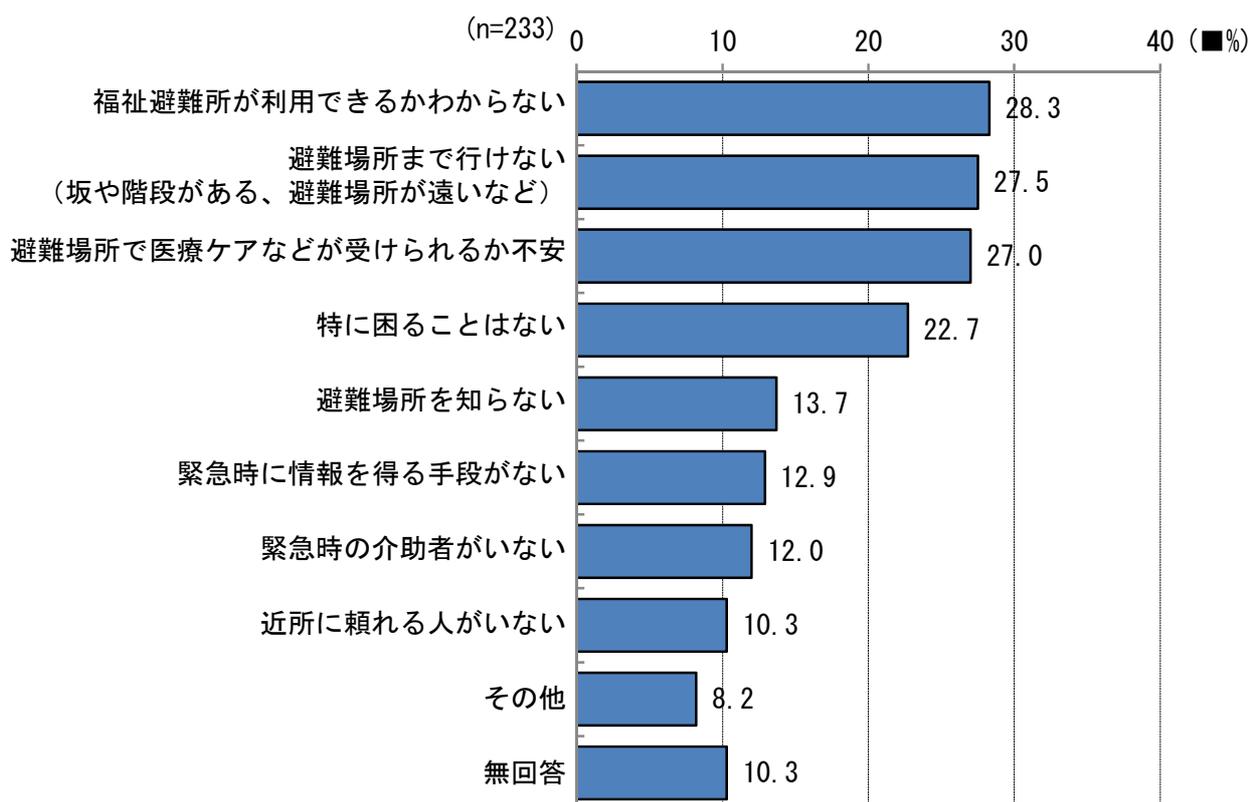


### 3 安全・安心について

#### 3-1 災害時に困ること

問16 あなたが地震など災害のときに困ることは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

災害時の問題として「福祉避難所が利用できるかわからない」が28.3%と最も高く、次いで「避難場所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠いなど）」27.5%、「避難場所で医療ケアなどが受けられるか不安」が27.0%と避難所に対しての不安が半数以上を占めています。



全体としてみると「避難場所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠いなど）」の割合は高いが、障がい種別でみると『精神障害者保健福祉手帳所持者』は8.7%と低い割合となっています。また、「緊急時に情報を得る手段がない」に対しても、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は4.3%と他の障がいを持つ方より低い割合となっています。

【障がい種別】

	回答数	避難場所を知らない	避難場所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠いなど）	緊急時の介助者がいない	近所に頼れる人がいない	緊急時に情報を得る手段がない
全体	233	13.7	27.5	12.0	10.3	12.9
身体障害者手帳所持者	145	9.7	31.0	12.4	9.0	12.4
療育手帳所持者	73	21.9	27.4	9.6	11.0	13.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	21.7	8.7	13.0	17.4	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	25.0	16.7	16.7	16.7	0.0
難病の認定を受けている	12	25.0	33.3	33.3	25.0	16.7
発達障がいの診断を受けている	42	26.2	31.0	9.5	9.5	14.3
	回答数	避難場所が受けられない医療ケアなど不安	福祉避難所が利用できない	その他	特に困ることはない	無回答
全体	233	27.0	28.3	8.2	22.7	10.3
身体障害者手帳所持者	145	26.9	24.8	9.0	22.1	11.0
療育手帳所持者	73	26.0	35.6	6.8	24.7	8.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	30.4	26.1	8.7	30.4	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	16.7	41.7	0.0	33.3	0.0
難病の認定を受けている	12	50.0	41.7	8.3	0.0	8.3
発達障がいの診断を受けている	42	28.6	33.3	9.5	19.0	9.5

全体的にみて高い割合の「避難場所まで行けない(坂や階段がある、避難場所が遠いなど)」の中でも、『30歳代』が62.5%と他の年代の方より高い割合となっています。また『60歳代』の中で最も高いのは「福祉避難所が利用できるかわからない」で、41.2%の割合となっています。

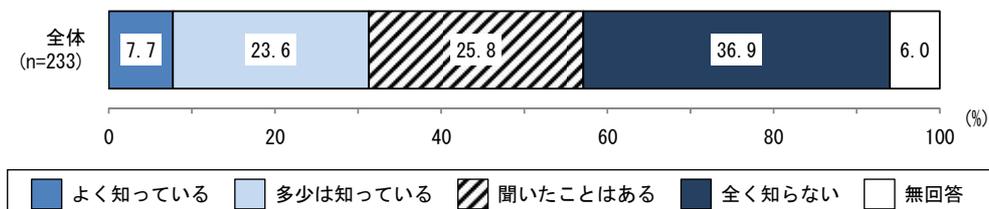
【年齢8区分別】

	回答数	福祉避難所が利用できる	福祉避難所が遠いなど	避難場所や階段がある	避難場所まで行けない	避難場所を知らない	緊急時に情報を得る手段がない	緊急時の介助者がいない	近所に頼れる人がいない	その他	特に困ることはない	無回答
全体	233	28.3	27.5	27.0	13.7	12.9	12.0	10.3	8.2	22.7	10.3	
0～6歳未満	7	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	
6～18歳未満	13	15.4	38.5	7.7	15.4	15.4	7.7	0.0	15.4	38.5	0.0	
18～29歳	11	36.4	18.2	27.3	36.4	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	18.2	
30歳代	8	25.0	62.5	25.0	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	25.0	0.0	
40歳代	16	43.8	25.0	43.8	6.3	0.0	6.3	18.8	12.5	0.0	6.3	
50歳代	20	30.0	25.0	25.0	20.0	0.0	0.0	15.0	5.0	40.0	5.0	
60歳代	34	41.2	17.6	26.5	26.5	14.7	11.8	5.9	2.9	17.6	5.9	
70歳以上	110	21.8	30.0	28.2	7.3	16.4	15.5	11.8	9.1	21.8	11.8	

3-2 成年後見制度についての認知度

問17 あなたは成年後見制度についてご存知ですか。【1つに○】

「成年後見制度」についての認知は、「全く知らない」が36.9%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が25.8%、「多少は知っている」が23.6%となっています。

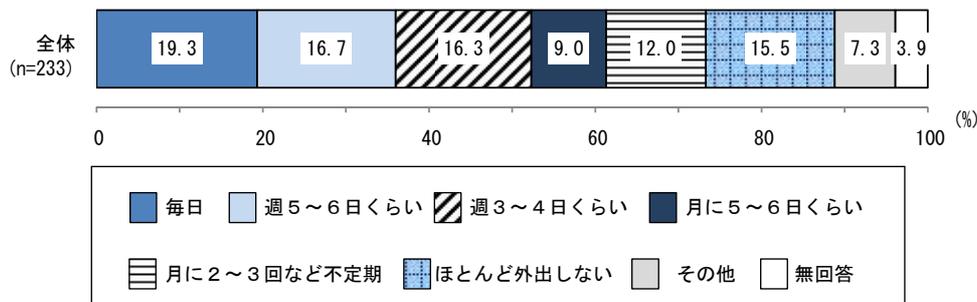


## 4 外出について

### 4-1 外出頻度

問18 あなたはどれくらいの頻度で外出しますか。(通勤、通学、通院等の外出を含む)【1つに○】

外出頻度は「毎日」が19.3%と最も高く、次いで「週5～6日くらい」が16.7%、「週3～4日くらい」が16.3%となっています。



全体的に割合が高い「週5～6日くらい」の中でも特に、『療育手帳所持者』が30.1%、『発達障がい』の診断を受けている』が35.7%と他の障がいを持つ方より高くなっています。一方「週3～4日くらい」の項目では『療育手帳所持者』、『発達障がい』の診断を受けている』は10%にも満たない低い割合となっています。

#### 【障がい種別】

	回答数	毎日	週5～6日くらい	週3～4日くらい	月に2～3回など不定期	月に5～6日くらい	その他	ほとんど外出しない	無回答
全体	233	19.3	16.7	16.3	12.0	9.0	7.3	15.5	3.9
身体障害者手帳所持者	145	16.6	12.4	20.0	12.4	10.3	8.3	14.5	5.5
療育手帳所持者	73	20.5	30.1	4.1	13.7	5.5	2.7	19.2	4.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	13.0	17.4	30.4	13.0	13.0	0.0	13.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
難病の認定を受けている	12	16.7	16.7	41.7	0.0	0.0	16.7	8.3	0.0
発達障がいの診断を受けている	42	28.6	35.7	0.0	7.1	7.1	2.4	14.3	4.8

年齢別にみると『30歳代』の中で最も高い割合が「週5～6日くらい」で62.5%と、『30歳代』の割合の半数以上を占めています。同じ項目で他の年代の方をみると、『60歳代』が5.9%、『70歳以上』が9.1%と年齢が進むにつれ、割合が低くなっています。

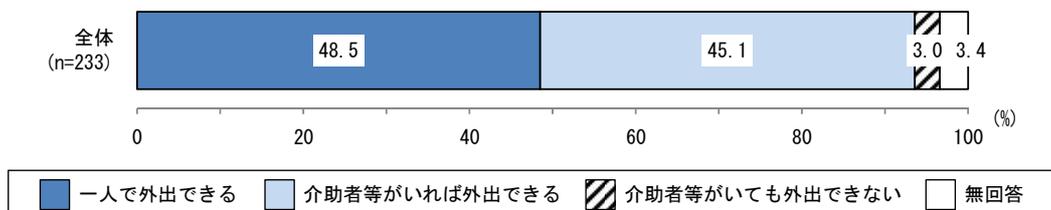
【年齢8区分別】

	回答数	毎日	週5～6日くらい	週3～4日くらい	月に5～6日くらい	月に2～3回など不定	ほとんど外出しない	その他	無回答
全体	233	19.3	16.7	16.3	9.0	12.0	15.5	7.3	3.9
0～6歳未満	7	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
6～18歳未満	13	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	11	27.3	36.4	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
30歳代	8	0.0	62.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5
40歳代	16	18.8	31.3	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0
50歳代	20	35.0	20.0	15.0	5.0	5.0	15.0	0.0	5.0
60歳代	34	23.5	5.9	17.6	5.9	5.9	23.5	11.8	5.9
70歳以上	110	11.8	9.1	20.0	12.7	15.5	20.0	8.2	2.7

4-2-1 単独での外出

問19 あなたは一人で外出することができますか。【1つに○】

「一人で外出できる」が48.5%と最も高く、次いで「介助者等がいれば外出できる」が45.1%、「介助者等がいても外出できない」が3.0%となっています。



全体の割合は「一人で外出できる」と「介助者等がいれば外出できる」がほぼ同じ割合となっているが、障がい種別でみてもほぼ半々の割合となっています。しかし、『療育手帳所持者』は「一人で外出できる」が31.5%、「介助者等がいれば外出できる」が64.4%に対し、『精神障害者保健福祉手帳所持者』は「一人で外出できる」が60.9%、「介助者等がいれば外出できる」が34.8%と対比する割合となっています。

#### 【障がい種別】

	回答数	一人で外出できる	介助者等がいれば外出できる	介助者等がいなくても外出できない	無回答
全体	233	48.5	45.1	3.0	3.4
身体障害者手帳所持者	145	51.7	40.7	3.4	4.1
療育手帳所持者	73	31.5	64.4	2.7	1.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	60.9	34.8	4.3	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	41.7	58.3	0.0	0.0
難病の認定を受けている	12	41.7	50.0	0.0	8.3
発達障がいの診断を受けている	42	33.3	57.1	4.8	4.8

「一人で外出できる」と「介助者等がいれば外出できる」の割合は、各年代別でみてもほぼ半数の割合となっていますが、「介助者等がいなくても外出できない」の割合は『30歳代』が12.5%と他の年代より高くなっています。

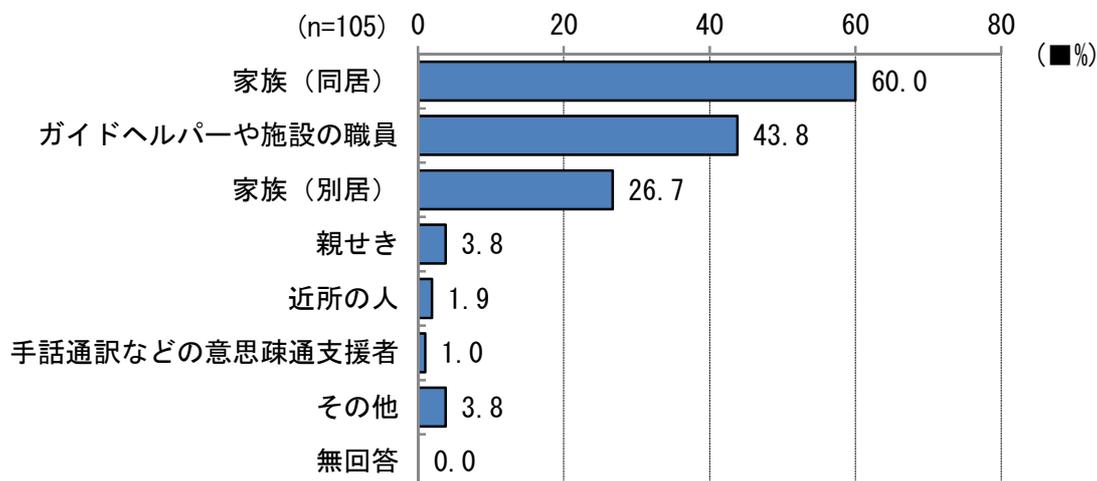
#### 【年齢8区分別】

	回答数	一人で外出できる	介助者等がいれば外出できる	介助者等がいなくても外出できない	無回答
全体	233	48.5	45.1	3.0	3.4
0～6歳未満	7	14.3	85.7	0.0	0.0
6～18歳未満	13	53.8	46.2	0.0	0.0
18～29歳	11	72.7	27.3	0.0	0.0
30歳代	8	37.5	37.5	12.5	12.5
40歳代	16	43.8	56.3	0.0	0.0
50歳代	20	60.0	40.0	0.0	0.0
60歳代	34	55.9	32.4	2.9	8.8
70歳以上	110	44.5	49.1	3.6	2.7

#### 4-2-2 外出時の介助者

問19-1 外出する際の主な同伴者や必要な支援者は誰ですか。(問19で「2」を選んだ方におたずねします。)【あてはまるもの3つまでに○】

外出時の介助者は「家族（同居）」が60.0%と最も高く、次いで「ガイドヘルパーや施設の職員」が43.8%、「家族（別居）」が26.7%となっています。



障がい種別でみると、『発達障がいの診断を受けている』の中で「家族（同居）」が79.2%と8割程を占めており、他の項目より高くなっています。他の障がいを持つ方も同様に「家族（同居）」が他の項目と比べ高いですが、『精神障害者保健福祉手帳所持者』と『高次脳機能障がいの診断を受けている』方は、「ガイドヘルパーや施設の職員」が高く、共に50%を超えています。

#### 【障がい種別】

	回答数	家族（同居）	ガイドヘルパーや施設の職員	家族（別居）	親せき	近所の人	手話通訳などの意思疎通支援者	その他	無回答
全体	105	60.0	43.8	26.7	3.8	1.9	1.0	3.8	0.0
身体障害者手帳所持者	59	64.4	33.9	28.8	6.8	3.4	1.7	5.1	0.0
療育手帳所持者	47	59.6	57.4	19.1	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	8	37.5	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	7	42.9	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病の認定を受けている	6	50.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
発達障がいの診断を受けている	24	79.2	41.7	16.7	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0

全体的に割合の高い「家族（同居）」の中でも、『60歳代』は他の年代の方が50%を超える中、9.1%と低い割合となっています。また、「親せき」においては『70歳以上』が7.4%と全体で最も高い割合となっています。

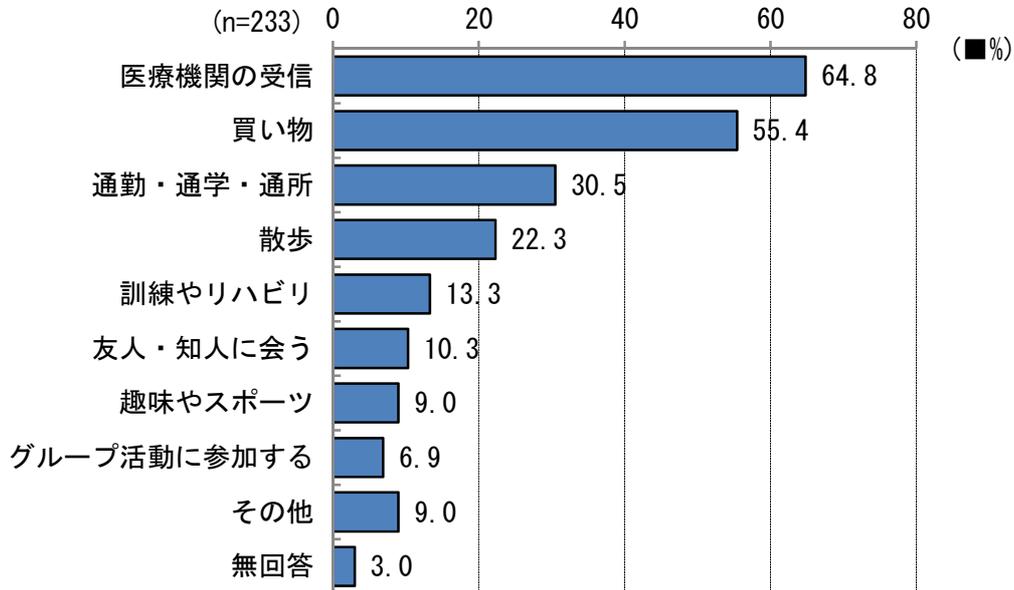
【年齢8区分別】

	回答数	家族（同居）	ガイドヘルパーや施設の職員	家族（別居）	親せき	近所の人	手話通訳などの意思疎通支援者	その他	無回答
全体	105	60.0	43.8	26.7	3.8	1.9	1.0	3.8	0.0
0～6歳未満	6	83.3	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
6～18歳未満	6	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	3	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	9	88.9	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50歳代	8	50.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	11	9.1	81.8	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	54	57.4	35.2	31.5	7.4	3.7	0.0	7.4	0.0

### 4-3 外出目的

問20 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。【あてはまるものすべてに○】

外出目的は「医療機関の受信」が64.8%と最も高く、次いで「買い物」が55.4%、「通勤・通学・通所」が30.5%となっています。



全体的に割合の高い「医療機関の受信」の中で『療育手帳所持者』と『発達障がいの診断を受けている』、『高次脳機能障がいの診断を受けている』は50%前後と他の障がいを持つ方より低い割合となっています。「通勤・通学・通所」においては『発達障がいの診断を受けている』が71.4%と最も高く、『身体障害者手帳所持者』は17.2%と低い割合になっています。

#### 【障がい種別】

	回答数	医療機関の受信	買い物	通勤・通学・通所	散歩	訓練やリハビリ	友人・知人に会う	趣味やスポーツ	グループ活動に参加する	その他	無回答
全体	233	64.8	55.4	30.5	22.3	13.3	10.3	9.0	6.9	9.0	3.0
身体障害者手帳所持者	145	71.7	51.0	17.2	24.8	15.9	12.4	11.7	7.6	9.0	2.8
療育手帳所持者	73	49.3	54.8	58.9	23.3	12.3	8.2	6.8	2.7	6.8	2.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	73.9	73.9	39.1	13.0	8.7	4.3	4.3	8.7	13.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	58.3	41.7	33.3	50.0	25.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0
難病の認定を受けている	12	91.7	50.0	50.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0
発達障がいの診断を受けている	42	50.0	57.1	71.4	26.2	16.7	9.5	9.5	4.8	2.4	4.8

年齢別にみると、「友人・知人に会う」は『18～29歳』が27.3%、『30歳代』が25.0%と他の年代の方より高い割合となっており、「グループ活動に参加する」は『50歳代』から上の世代の方に高い傾向がみられます。

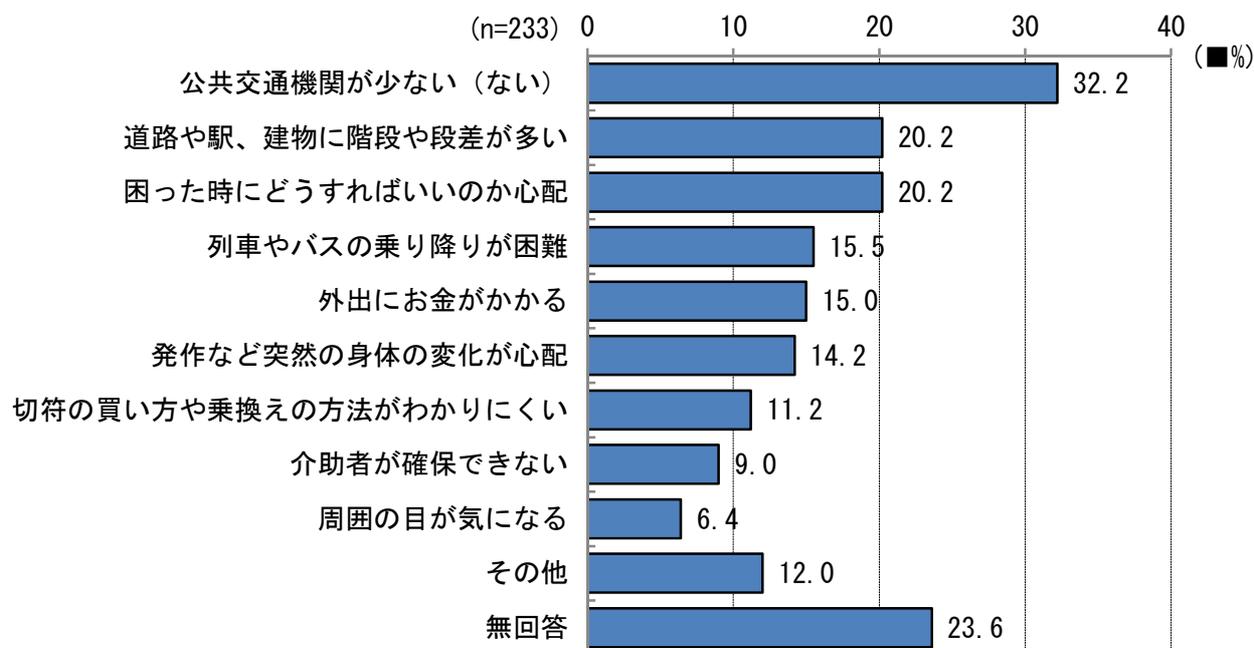
#### 【年齢8区分別】

	回答数	医療機関の受信	買い物	通勤・通学・通所	散歩	訓練やりハビリ	友人・知人に会う	趣味やスポーツ	グループ活動に参加する	その他	無回答
全体	233	64.8	55.4	30.5	22.3	13.3	10.3	9.0	6.9	9.0	3.0
0～6歳未満	7	57.1	71.4	71.4	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6～18歳未満	13	46.2	84.6	92.3	30.8	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0
18～29歳	11	45.5	72.7	81.8	18.2	9.1	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0
30歳代	8	62.5	37.5	75.0	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
40歳代	16	56.3	87.5	56.3	18.8	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0
50歳代	20	50.0	70.0	60.0	20.0	5.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0
60歳代	34	50.0	50.0	20.6	11.8	8.8	5.9	5.9	2.9	14.7	8.8
70歳以上	110	80.0	47.3	6.4	27.3	16.4	10.9	10.9	10.9	11.8	1.8

#### 4-4 外出時に困ること

問2 外出するときに困ることは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

外出時に困ることは「公共交通機関が少ない（ない）」が32.2%と最も高く、次いで「道路や駅、建物の階段や段差が多い」と「困った時にどうすればいいのか心配」が20.2%と同じ割合になっています。



障がい種別でみると、「公共交通機関が少ない（ない）」の中で『発達障がいの診断を受けている』が42.9%、『療育手帳所持者』が41.1%と、他の障がいを持つ方に比べ高い割合となっています。また「困った時にどうすればいいのか心配」の項目は『身体障害者手帳所持者』が15.9%と全体的に見て低い割合となっています。

【障がい種別】

	回答数	公共交通機関が少ない (ない)	道路や駅、建物に階段差が多い	困った時にどうすればいいのか心配	列車やバスの乗り降りが困難	外出にお金がかかる	発作など突然の身体の変化が心配
全体	233	32.2	20.2	20.2	15.5	15.0	14.2
身体障害者手帳所持者	145	30.3	26.9	15.9	20.0	14.5	15.2
療育手帳所持者	73	41.1	17.8	24.7	13.7	12.3	15.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	21.7	0.0	34.8	8.7	26.1	21.7
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	0.0	0.0	25.0	8.3	25.0	25.0
難病の認定を受けている	12	41.7	41.7	25.0	25.0	33.3	33.3
発達障がいの診断を受けている	42	42.9	14.3	19.0	14.3	16.7	14.3
	回答数	の切符方法が買わたりや乗換え	介助者が確保できない	周囲の目が気になる	その他	無回答	
全体	233	11.2	9.0	6.4	12.0	23.6	
身体障害者手帳所持者	145	9.7	9.7	4.8	13.1	26.2	
療育手帳所持者	73	16.4	12.3	12.3	11.0	16.4	
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	4.3	4.3	0.0	13.0	17.4	
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	16.7	0.0	0.0	25.0	16.7	
難病の認定を受けている	12	8.3	33.3	0.0	8.3	16.7	
発達障がいの診断を受けている	42	14.3	11.9	16.7	2.4	16.7	

年齢別にみると、「公共交通機関が少ない（ない）」の中で『40歳代』が68.8%と最も高い割合となっています。また、「困った時にどうすればいいのか心配」においては、『50歳代』が50.0%と他の年代の方よりも高く、更に同年代の項目の中でも最も高い割合となっています。

【年齢8区分別】

	回答数	公共交通機関が少ない（ない）	道路や駅、建物に階段差が多い	困った時にどうすればいいのか心配	列車やバスの乗り降りが困難	外出にお金がかかる	発作など突然の身体の変化が心配	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	介助者が確保できない	周囲の目が気になる	その他	無回答
全体	233	32.2	20.2	20.2	15.5	15.0	14.2	11.2	9.0	6.4	12.0	23.6
0～6歳未満	7	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9
6～18歳未満	13	46.2	23.1	15.4	15.4	15.4	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	23.1
18～29歳	11	54.5	18.2	45.5	18.2	27.3	9.1	36.4	18.2	36.4	9.1	9.1
30歳代	8	37.5	0.0	12.5	0.0	25.0	37.5	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5
40歳代	16	68.8	25.0	6.3	12.5	12.5	25.0	12.5	6.3	12.5	18.8	6.3
50歳代	20	25.0	5.0	50.0	10.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	10.0
60歳代	34	29.4	14.7	14.7	8.8	23.5	11.8	5.9	5.9	2.9	11.8	32.4
70歳以上	110	27.3	27.3	17.3	20.9	10.0	12.7	10.9	10.9	2.7	15.5	26.4

## 5 仕事について

### 5-1 就労状況

問22 あなたは、仕事をしていますか。【あてはまるものすべてに○】

就労状況については「していない」が72.1%と半数以上の割合を占めており、「している」は25.3%の割合となっています。



障がい種別でみると「している」と回答した方の割合は『精神障害者保健福祉手帳所持者』が43.5%と他の障がいを持つ方より高い割合となっています。

#### 【障がい種別】

	回答数	している	していない	無回答
全体	233	25.3	72.1	2.6
身体障害者手帳所持者	145	22.1	74.5	3.4
療育手帳所持者	73	21.9	75.3	2.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	43.5	56.5	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	33.3	58.3	8.3
難病の認定を受けている	12	33.3	66.7	0.0
発達障がいの診断を受けている	42	23.8	71.4	4.8

年齢別にみると、「している」の割合は、『18～29歳』が72.7%と最も高く、全体の半数以上を占めています。一方で『70歳以上』は13.6%と低く、年齢が進むにつれ減少傾向にあります。

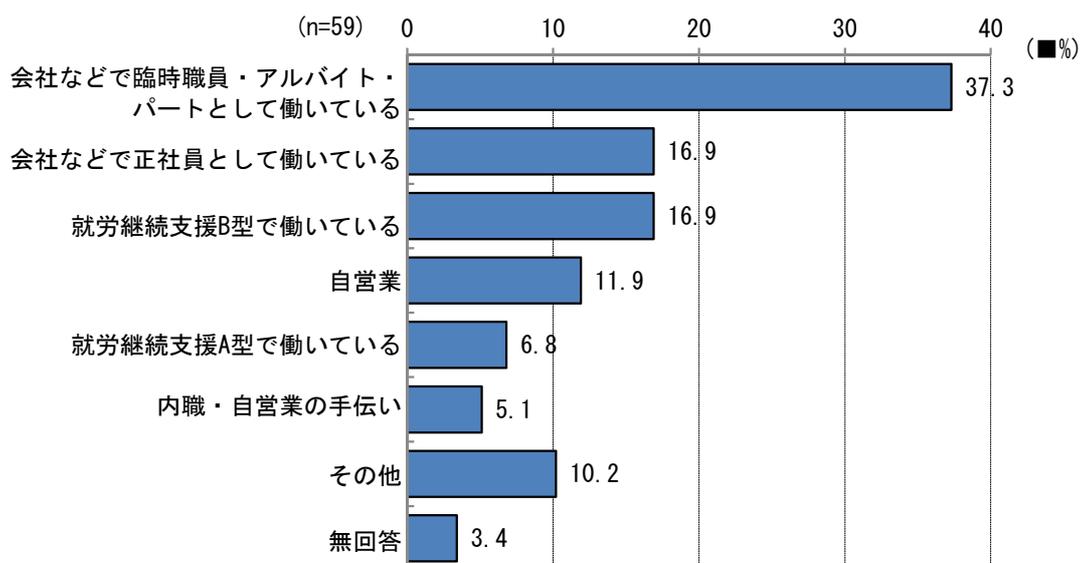
### 【年齢8区分別】

	回答数	している	していない	無回答
全体	233	25.3	72.1	2.6
0～6歳未満	7	14.3	85.7	0.0
6～18歳未満	13	0.0	100.0	0.0
18～29歳	11	72.7	27.3	0.0
30歳代	8	37.5	62.5	0.0
40歳代	16	43.8	56.3	0.0
50歳代	20	45.0	50.0	5.0
60歳代	34	32.4	61.8	5.9
70歳以上	110	13.6	83.6	2.7

## 5-2 就労内容

問23 現在、あなたはどのような仕事をしていますか。(問22で「1 している」を選んだ方におたずねします。【あてはまるものすべてに○】)

仕事内容については「会社などで臨時職員・アルバイト・パートとして働いている」が37.3%と最も高くなっており、次いで「会社などで正社員として働いている」と「就労継続支援B型で働いている」が共に16.9%、「自営業」が11.9%となっています。



全体で割合の高い「会社などで臨時職員・アルバイト・パートとして働いている」の中でも障がい種別でみると、『精神障害者保健福祉手帳所持者』が60.0%と最も高くなっており、『療育手帳所持者』は12.5%と他の障がいを持つ方より低い割合となっています。また、「就労継続支援B型で働いている」の割合は『身体障害者手帳所持者』が3.1%と他の障がいを持つ方より最も低い割合となっています。

### 【障がい種別】

	回答数	会社などで働いている アルバイト・パート と	会社などで働いている 正社員とし	就労継続支援B型で働	自営業	就労継続支援A型で働	内職・自営業の手伝い	その他	無回答
全体	59	37.3	16.9	16.9	11.9	6.8	5.1	10.2	3.4
身体障害者手帳所持者	32	43.8	18.8	3.1	21.9	0.0	6.3	9.4	6.3
療育手帳所持者	16	12.5	18.8	43.8	0.0	18.8	0.0	6.3	0.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	10	60.0	10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
難病の認定を受けている	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
発達障がいの診断を受けている	10	20.0	20.0	40.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0

年齢別にみると、「就労継続支援B型で働いている」は『18～29歳』が37.5%、『30歳代』が33.3%、『50歳代』が44.4%と『40歳代』を除く、若い年代からミドル世代にかけて高い割合となっています。一方で「自営業」の割合は『50歳代』から年齢が進むにつれ高くなっています。

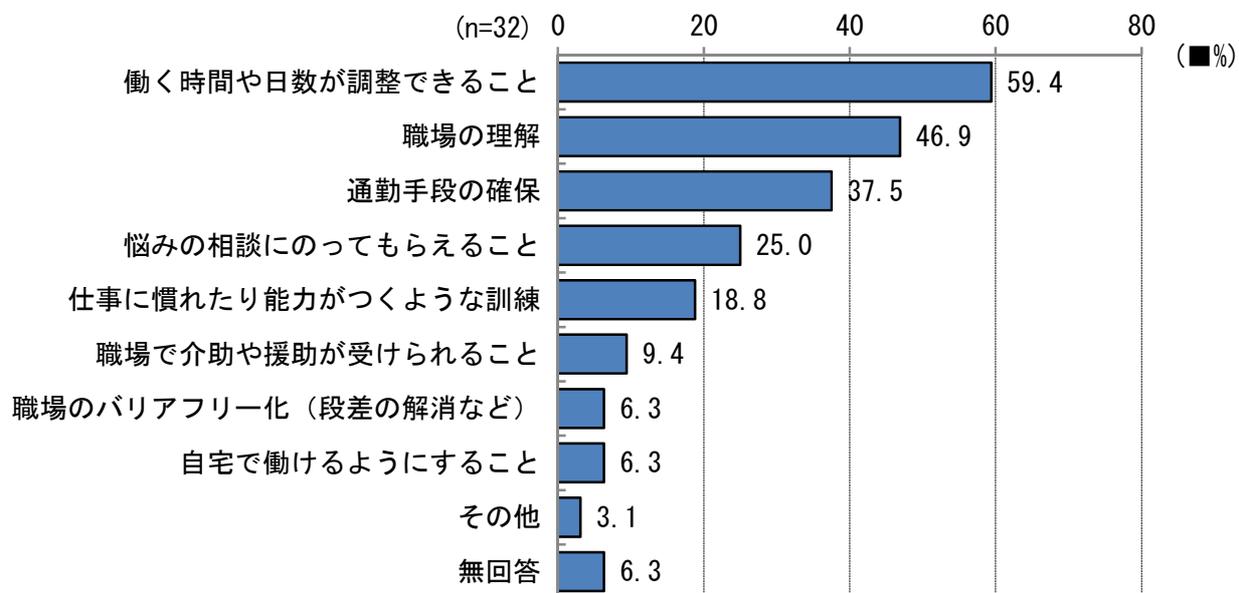
### 【年齢8区分別】

	回答数	会社などで働いている アルバイト・パート と	会社などで働いている 正社員とし	就労継続支援B型で働	自営業	就労継続支援A型で働	内職・自営業の手伝い	その他	無回答
全体	59	37.3	16.9	16.9	11.9	6.8	5.1	10.2	3.4
0～6歳未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
6～18歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～29歳	8	25.0	25.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
30歳代	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	7	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
50歳代	9	33.3	22.2	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	11	54.5	18.2	0.0	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0
70歳以上	15	26.7	6.7	0.0	26.7	0.0	0.0	26.7	13.3

### 5-3 必要な就労支援

問24 あなたが働き続けるためには、何が必要だと思いますか。(問23で「1」または「2」と回答された方におたずねします。)【あてはまるもの3つまでに○】

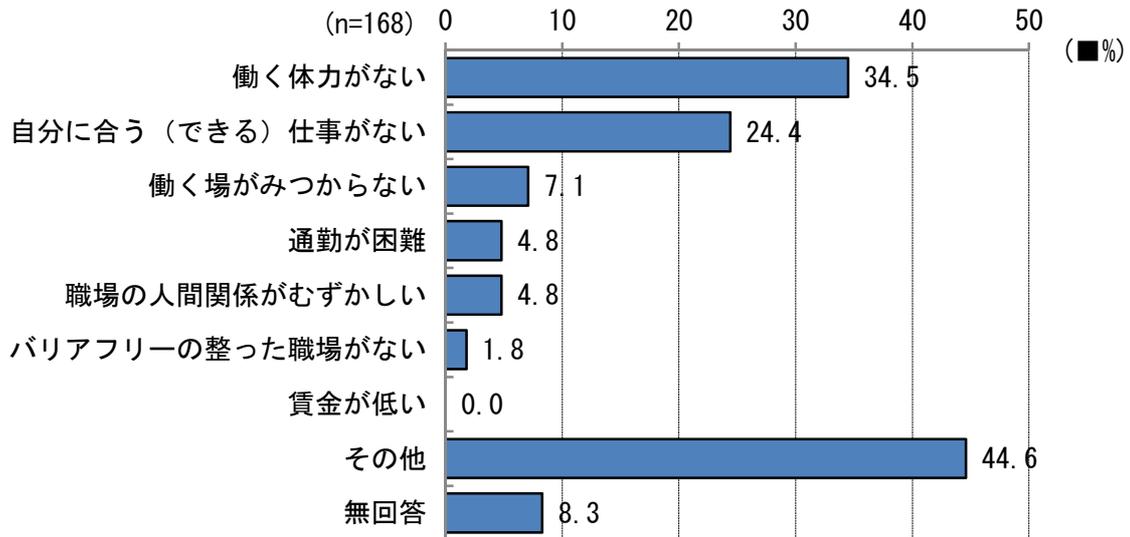
必要な就労支援については「働く時間や日数が調整できること」が59.4%と最も高く、次いで「職場の理解」が46.9%、「通勤手段の確保」が37.5%となっています。



## 5-4 未就労の理由

問25 あなたが仕事をしていない理由はどれですか。(問22で「2 していない」と回答された方におたずねします。)【あてはまるものすべてに○】

仕事をしていない理由として「その他」が44.6%と最も高くなっており、次いで「働く体力がない」が34.5%、「自分に合う(できる)仕事がない」が24.4%となっています。他に「働く場が見つからない」7.1%、「通勤が困難」4.8%等の声もあります。



障がい種別でみると「働く体力がない」の割合は『療育手帳所持者』が20.0%、『発達障がいの診断を受けている』が6.7%と他の障がいを持つ方より低い割合となっています。また「職場の人間関係がむずかしい」は『精神障害者保健福祉手帳所持者』が30.8%と最も高い割合となっています。

### 【障がい種別】

	回答数	働く体力がない	自分に合う(できる)仕事がない	働く場が見つからない	通勤が困難	職場の人間関係がむずかしい	バリアフリーの整った職場がない	賃金が低い	その他	無回答
全体	168	34.5	24.4	7.1	4.8	4.8	1.8	0.0	44.6	8.3
身体障害者手帳所持者	108	42.6	17.6	2.8	1.9	0.9	1.9	0.0	41.7	9.3
療育手帳所持者	55	20.0	32.7	12.7	9.1	7.3	3.6	0.0	49.1	5.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	13	46.2	38.5	15.4	15.4	30.8	0.0	0.0	38.5	7.7
高次脳機能障がいの診断を受けている	7	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
難病の認定を受けている	8	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	12.5
発達障がいの診断を受けている	30	6.7	23.3	10.0	3.3	0.0	3.3	0.0	63.3	6.7

年齢別にみると『70歳以上』は「働く体力がない」が47.8%と最も高い割合となっており、「バリアフリーの整った職場がない」の回答率は、『18～29歳』が33.3%、『30歳代』が20.0%と比較的若い年代の方に高い割合となっています。

【年齢8区分別】

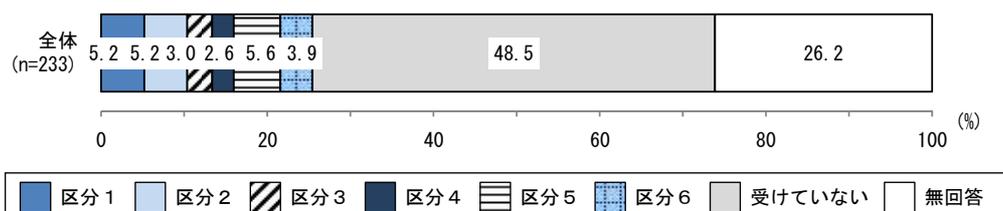
	回答数	働く体力がない	自分自分に合う(できる)仕事がない	働く場が見つからない	通勤が困難	職場の人間関係がむずかしい	バリアフリーの整った職場がない	賃金が低い	その他	無回答
全体	168	34.5	24.4	7.1	4.8	4.8	1.8	0.0	44.6	8.3
0～6歳未満	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
6～18歳未満	13	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.2	23.1
18～29歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
30歳代	5	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0
40歳代	9	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0
50歳代	10	40.0	60.0	20.0	30.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0
60歳代	21	33.3	42.9	9.5	9.5	14.3	4.8	0.0	38.1	9.5
70歳以上	92	47.8	17.4	5.4	1.1	0.0	0.0	0.0	41.3	7.6

## 6 障害福祉サービスについて

### 6-1 障がい支援区分

問26 あなたは障害支援（障害程度）区分の認定を受けていますか。【1つに○】

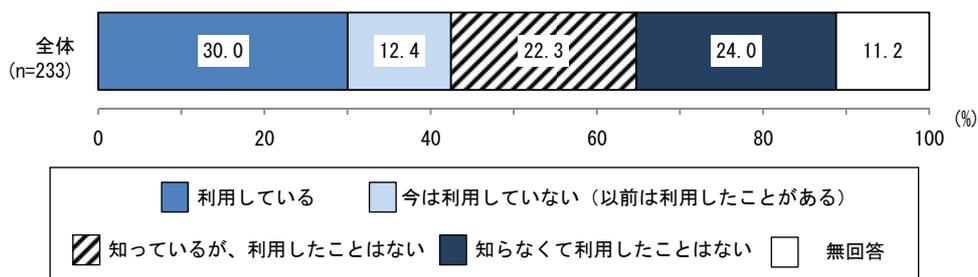
「受けていない」が48.5%と全体の半数近くを占めており、受けている場合は「区分5」が5.6%、「区分1」と「区分2」が5.2%と同じ割合で、「区分6」が3.9%となっています。



### 6-2 障害福祉サービスの利用状況

問27 あなたは、障害福祉サービスを利用していますか。【1つに○】

障害福祉サービスの利用は「利用している」が30.0%と最も高く、次いで「知らなくて利用したことはない」が24.0%、「知っているが、利用したことはない」が22.3%となっています。



全体的に割合が高い「利用している」の中でも『療育手帳所持者』が 54.8%、『発達障がいの診断を受けている』が 52.4%と半数以上の割合で高くなっています。「知らなくて利用したことはない」の中で最も高いのは『身体障害者手帳所持者』の 29.7%ですが、『療育手帳所持者』と『発達障がいの診断を受けている』方は共に 10%より低い割合となっています。

### 【障がい種別】

	回答数	利用している	知らなくて利用したことはない	知っているが、利用したことはない	（今）以前は利用していたが、今は利用していない	無回答
全体	233	30.0	24.0	22.3	12.4	11.2
身体障害者手帳所持者	145	20.7	29.7	22.8	14.5	12.4
療育手帳所持者	73	54.8	9.6	19.2	6.8	9.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	39.1	26.1	17.4	13.0	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
難病の認定を受けている	12	16.7	25.0	41.7	8.3	8.3
発達障がいの診断を受けている	42	52.4	9.5	19.0	9.5	9.5

全体で高い割合の「利用している」の中でも、「0～6歳未満」は 71.4%と他の年代の方よりも高い割合となっており、「知らなくて利用したことはない」は『60歳代』が 35.3%、『70歳以上』が 31.8%と他の年代の方よりも高い割合となっています。

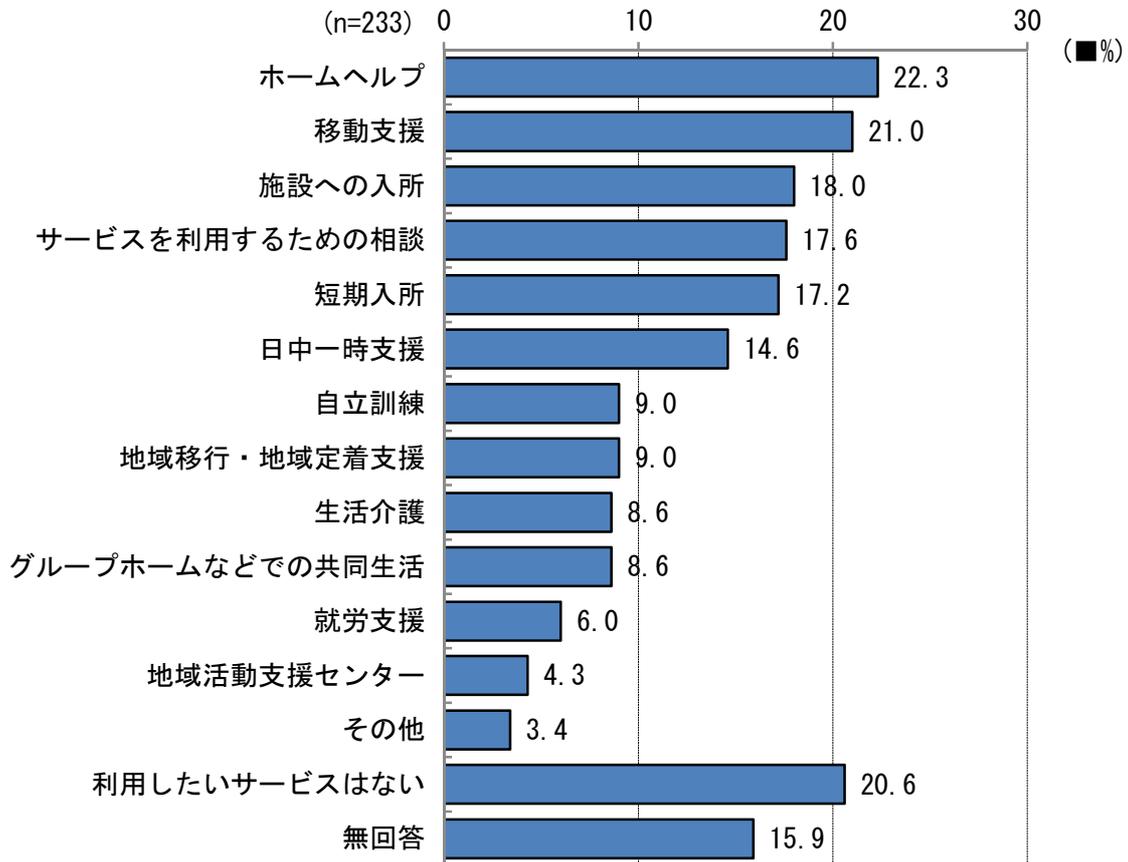
### 【年齢8区分別】

	回答数	利用している	（今）以前は利用していたが、今は利用していない	知っているが、利用したことはない	知らなくて利用したことはない	無回答
全体	233	30.0	12.4	22.3	24.0	11.2
0～6歳未満	7	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0
6～18歳未満	13	38.5	7.7	30.8	15.4	7.7
18～29歳	11	54.5	18.2	9.1	0.0	18.2
30歳代	8	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
40歳代	16	56.3	0.0	37.5	0.0	6.3
50歳代	20	50.0	5.0	25.0	10.0	10.0
60歳代	34	23.5	5.9	26.5	35.3	8.8
70歳以上	110	20.0	16.4	20.9	31.8	10.9

### 6-3 新たに利用したいサービス

問28 あなたが今後も利用したい、あるいは、今後は利用したいサービスは、次のどれですか。【あてはまるものすべてに○】

「利用したいサービスはない」が20.6%と高いが、利用したい場合「ホームヘルプ」が22.3%と最も高く、次いで「移動支援」が21.0%、「施設への入所」が18.0%となっています。



障がい種別にみると、『発達障がいの診断を受けている』の最も高い割合は「短期入所」の31.0%ですが、「ホームヘルプ」は7.1%と他の障がいを持つ方より低い割合となっています。また『身体障害者手帳所持者』の「自立訓練」の割合も7.6%と低くなっています。「日中一時支援」においては『精神障害者保健福祉手帳所持者』が4.3%と他の障がいを持つ方より低い割合となっています。

【障がい種別】

	回答数	ホームヘルプ	移動支援	施設への入所	サービスの相談を利用するた	短期入所	日中一時支援	自立訓練
全体	233	22.3	21.0	18.0	17.6	17.2	14.6	9.0
身体障害者手帳所持者	145	27.6	19.3	17.9	17.9	13.1	13.8	7.6
療育手帳所持者	73	11.0	20.5	23.3	16.4	27.4	17.8	11.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	21.7	26.1	13.0	13.0	8.7	4.3	17.4
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	33.3	33.3	25.0	16.7	25.0	16.7	25.0
難病の認定を受けている	12	33.3	58.3	33.3	33.3	33.3	41.7	41.7
発達障がいの診断を受けている	42	7.1	23.8	11.9	19.0	31.0	21.4	9.5
	回答数	地域移行・地域定着支援	生活介護	グループホームなどで	就労支援	地域活動支援センター	その他	無回答
全体	233	9.0	8.6	8.6	6.0	4.3	3.4	15.9
身体障害者手帳所持者	145	9.0	10.3	4.1	1.4	2.8	4.1	17.9
療育手帳所持者	73	6.8	12.3	13.7	8.2	2.7	2.7	13.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	17.4	0.0	17.4	13.0	13.0	4.3	8.7
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	16.7	16.7	16.7	0.0	8.3	16.7	16.7
難病の認定を受けている	12	25.0	25.0	25.0	16.7	16.7	0.0	8.3
発達障がいの診断を受けている	42	9.5	14.3	9.5	14.3	4.8	2.4	19

年齢別にみると「グループホームなどでの共同生活」は『18～29歳』が36.4%の割合で他の年代の方より高く、「短期入所」は『40歳代』までの年代で増加傾向にあります。「ホームヘルプ」においては『70歳以上』が30.9%と他の年代の方よりも高い割合となっています。

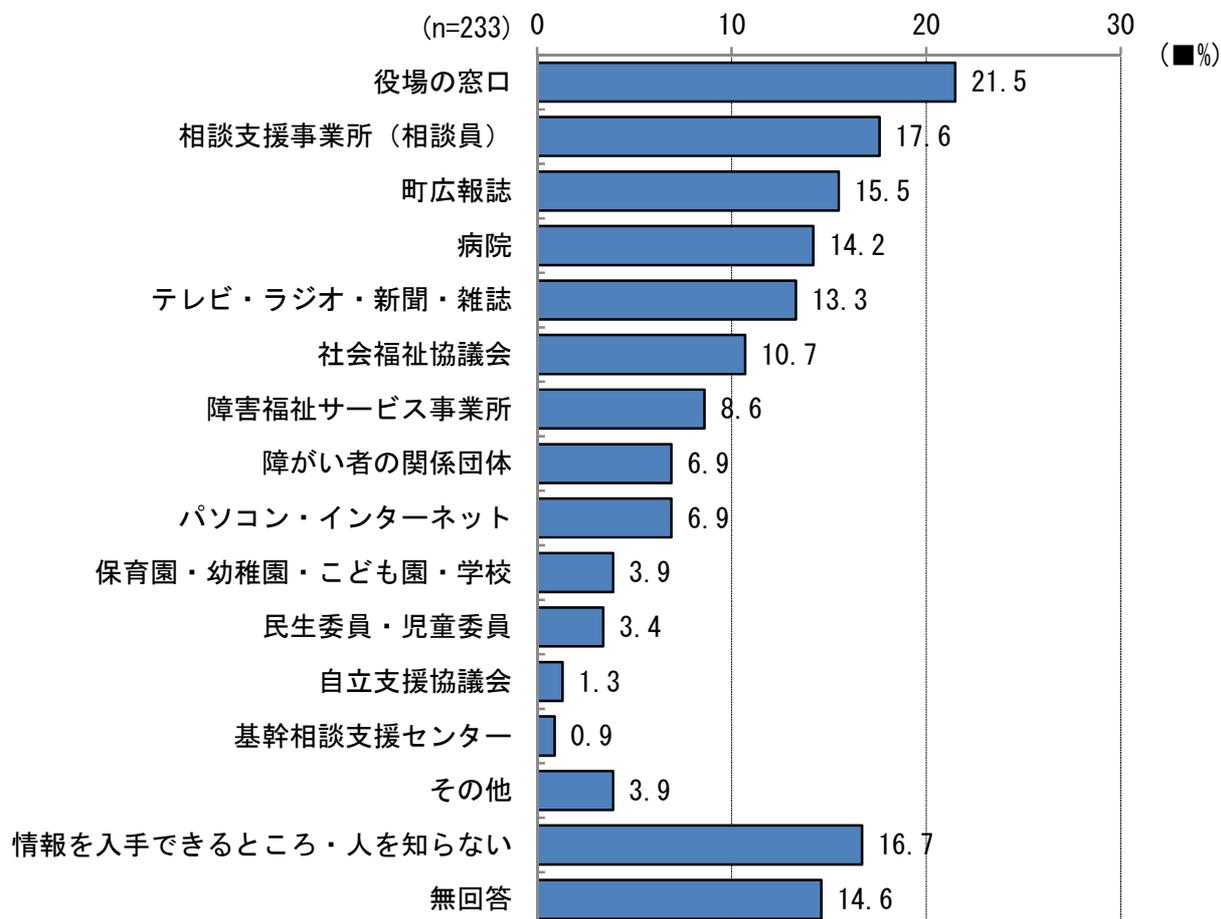
【年齢8区分別】

	回答数	ホームヘルプ	移動支援	施設への入所	サービスの相談を利用した	短期入所	日中一時支援	自立訓練
全体	233	22.3	21.0	18.0	17.6	17.2	14.6	9.0
0～6歳未満	7	14.3	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3
6～18歳未満	13	0.0	7.7	0.0	23.1	23.1	23.1	23.1
18～29歳	11	9.1	54.5	0.0	18.2	45.5	27.3	0.0
30歳代	8	12.5	25.0	12.5	25.0	37.5	25.0	12.5
40歳代	16	25.0	31.3	31.3	18.8	50.0	25.0	18.8
50歳代	20	10.0	20.0	15.0	10.0	0.0	0.0	10.0
60歳代	34	23.5	8.8	20.6	14.7	5.9	8.8	5.9
70歳以上	110	30.9	23.6	20.0	19.1	14.5	15.5	7.3
	回答数	援地域移行・地域定着支援	生活介護	のグループホームなどで	就労支援	地域活動支援センター	その他	無回答
全体	233	9.0	8.6	8.6	6.0	4.3	3.4	15.9
0～6歳未満	7	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
6～18歳未満	13	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	23.1
18～29歳	11	27.3	18.2	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1
30歳代	8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
40歳代	16	6.3	18.8	18.8	12.5	0.0	6.3	0.0
50歳代	20	5.0	10.0	15.0	10.0	15.0	5.0	30.0
60歳代	34	8.8	2.9	11.8	2.9	2.9	0.0	14.7
70歳以上	110	10.0	9.1	1.8	1.8	3.6	4.5	14.5

#### 6-4 福祉サービスの情報源

問29 あなたは、福祉サービスの情報をどこから入手していますか。【あてはまるものすべてに○】

福祉サービスの情報源は「役場の窓口」が21.5%と最も高く、次いで「相談支援事業所（相談員）」が17.6%、「町広報誌」が15.5%となっています。また、「情報を入手できるところ・人を知らない」が16.7%となっています。



全体で最も割合の高い「役場の窓口」の中でも『発達障がい診断を受けている』が33.3%と高くなっていますが、かえって『精神障害者保健福祉手帳所持者』は8.7%と低い割合となっています。「相談支援事業所（相談員）」においては、障がい種別により30%～40%台が多い中、『身体障害者手帳所持者』は8.3%と、他の障がいを持つ方より特に低い割合となっています。

【障がい種別】

	回答数	役場の窓口	相談支援事業所（相談員）	町広報誌	病院	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	社会福祉協議会	障害福祉サービス事業所	障がい者の関係団体
全体	233	21.5	17.6	15.5	14.2	13.3	10.7	8.6	6.9
身体障害者手帳所持者	145	22.1	8.3	20.7	15.2	15.2	14.5	7.6	6.2
療育手帳所持者	73	24.7	35.6	5.5	5.5	8.2	2.7	16.4	12.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	8.7	30.4	13.0	26.1	17.4	4.3	0.0	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	25.0	16.7	16.7	8.3	33.3	8.3	16.7	0.0
難病の認定を受けている	12	16.7	0.0	16.7	41.7	16.7	8.3	8.3	8.3
発達障がいの診断を受けている	42	33.3	45.2	4.8	4.8	4.8	2.4	16.7	9.5
	回答数	パソコン・インターネット	も保育園・学校・幼稚園・こども園	民生委員・児童委員	自立支援協議会	基幹相談支援センター	情報・人を入手できないところ	無回答	
全体	233	6.9	3.9	3.4	1.3	0.9	16.7	14.6	
身体障害者手帳所持者	145	6.9	0.7	4.8	0.0	0.7	14.5	17.9	
療育手帳所持者	73	6.8	12.3	1.4	1.4	0.0	20.5	12.3	
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	21.7	4.3	
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	16.7	
難病の認定を受けている	12	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	33.3	8.3	
発達障がいの診断を受けている	42	9.5	19.0	2.4	0.0	0.0	11.9	11.9	

「相談支援事業所（相談員）」の各年代の割合が10%以上の中、『70歳以上』は8.2%と低い割合となっています。また、「役場の窓口」においても、『60歳代』は8.8%と10%を超えず、他の年代の方より低い割合となっています。「町広報誌」の割合は『30歳代』が37.5%と他の年代の方より割合が高いです。

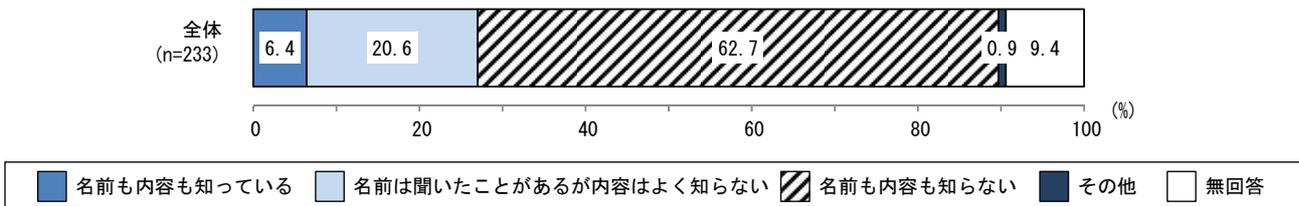
【年齢8区分別】

	回答数	役場の窓口	相談支援事業所（相談員）	町広報誌	病院	テレビ・雑誌・ラジオ・新聞	社会福祉協議会	障害福祉サービス事業所	障がい者の関係団体
全体	233	21.5	17.6	15.5	14.2	13.3	10.7	8.6	6.9
0～6歳未満	7	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0
6～18歳未満	13	30.8	38.5	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7
18～29歳	11	36.4	45.5	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	27.3
30歳代	8	37.5	37.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0
40歳代	16	18.8	43.8	0.0	18.8	6.3	6.3	25.0	25.0
50歳代	20	20.0	25.0	15.0	5.0	5.0	5.0	20.0	5.0
60歳代	34	8.8	11.8	17.6	14.7	5.9	14.7	0.0	0.0
70歳以上	110	22.7	8.2	20.9	17.3	18.2	14.5	6.4	5.5
	回答数	パソコン・インターネット	も保育園・学校	民生委員・児童委員	自立支援協議会	基幹相談支援センター	情報を入手できないところ	無回答	
全体	233	6.9	3.9	3.4	1.3	0.9	16.7	14.6	
0～6歳未満	7	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	
6～18歳未満	13	7.7	46.2	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	
18～29歳	11	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	
30歳代	8	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	
40歳代	16	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	25.0	0.0	
50歳代	20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	15.0	
60歳代	34	8.8	0.0	0.0	5.9	2.9	26.5	5.9	
70歳以上	110	3.6	0.0	6.4	0.0	0.0	13.6	15.5	

### 6-5 「地域生活支援拠点」についての認知

問30 あなたは、「地域生活支援拠点」について知っていますか。【1つに○】

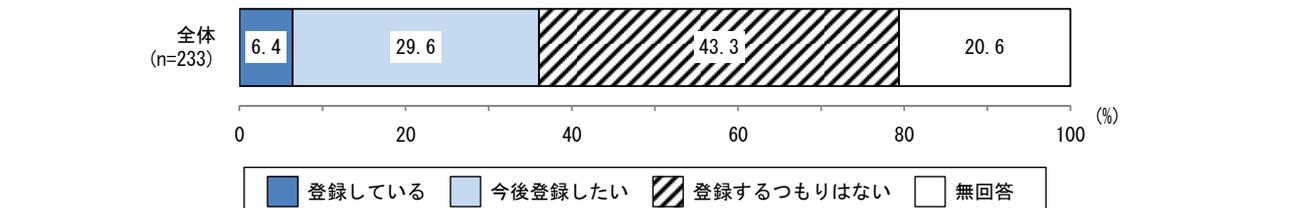
「地域生活支援拠点」についての認知度は「名前も内容も知らない」が62.7%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない」が20.6%、「名前も内容も知っている」が6.4%と、全体の大多数が内容について認知していない結果となっています。



### 6-6 「地域生活支援拠点」への利用登録者

問31 「地域生活支援拠点」へあなたは利用者として登録していますか。また、今後登録したいと思いますか。【1つに○】

「登録するつもりはない」が43.3%と最も高く、次いで「今後登録したい」が29.6%、「登録している」が6.4%となっています。



### 6-7 「地域生活支援拠点」に対しての要望

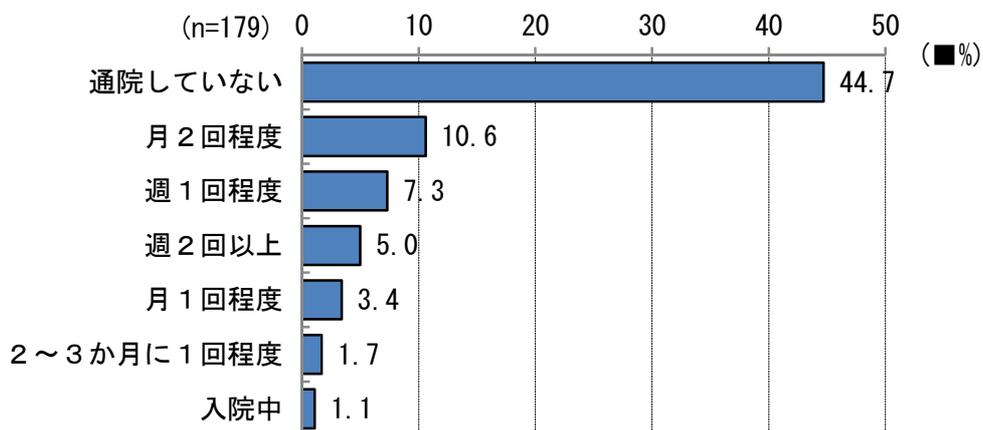
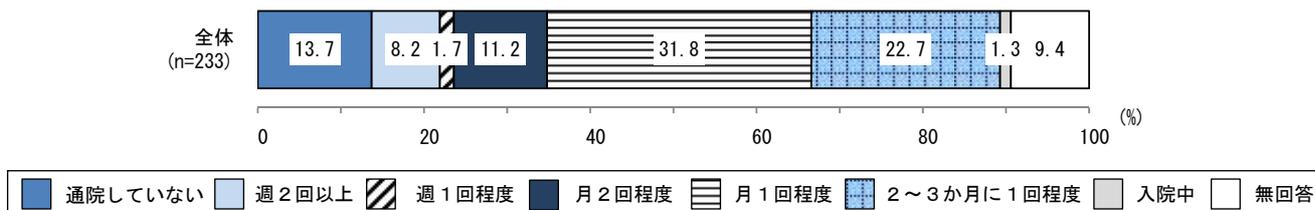
問32 「地域生活支援拠点」について、町に要望することがありましたらご記入ください。

## 7 通院医療について

### 7-1 通院の有無・頻度

問33 あなたは現在、通院していますか。それはどれくらいの回数ですか。【1つに○】

通院状況は「通院していない」が13.7%となっており、通院している場合の頻度は「月に1回程度」が31.8%と最も高く、次いで「2～3か月に1回程度」が22.7%、「月2回程度」が11.2%となっています。



全体で最も割合の高い「月1回程度」の中で『精神障害者保健福祉手帳所持者』が52.2%と半数以上を占めています。「通院していない」を回答された方の中でも『療育手帳所持者』が24.7%、『発達障がい診断を受けている』が33.3%と他の障がいを持つ方より特に高くなっています。

【障がい種別】

	回答数	週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	2～3か月に1回程度	入院中	通院していない	無回答
全体	233	8.2	1.7	11.2	31.8	22.7	1.3	13.7	9.4
身体障害者手帳所持者	145	12.4	2.8	12.4	30.3	21.4	1.4	8.3	11.0
療育手帳所持者	73	1.4	0.0	4.1	28.8	27.4	1.4	24.7	12.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	23	4.3	0.0	21.7	52.2	13.0	0.0	4.3	4.3
高次脳機能障がいの診断を受けている	12	8.3	8.3	16.7	16.7	33.3	0.0	8.3	8.3
難病の認定を受けている	12	25.0	0.0	8.3	41.7	25.0	0.0	0.0	0.0
発達障がいの診断を受けている	42	0.0	0.0	0.0	23.8	26.2	2.4	33.3	14.3

年齢別でも「月1回程度」の割合が高い中、『30歳代』は「2～3か月に1回程度」37.5%と他の項目より高い割合となっており、「週2回以上」の割合は、『70歳以上』が12.7%と他の年代よりも高い割合となっています。

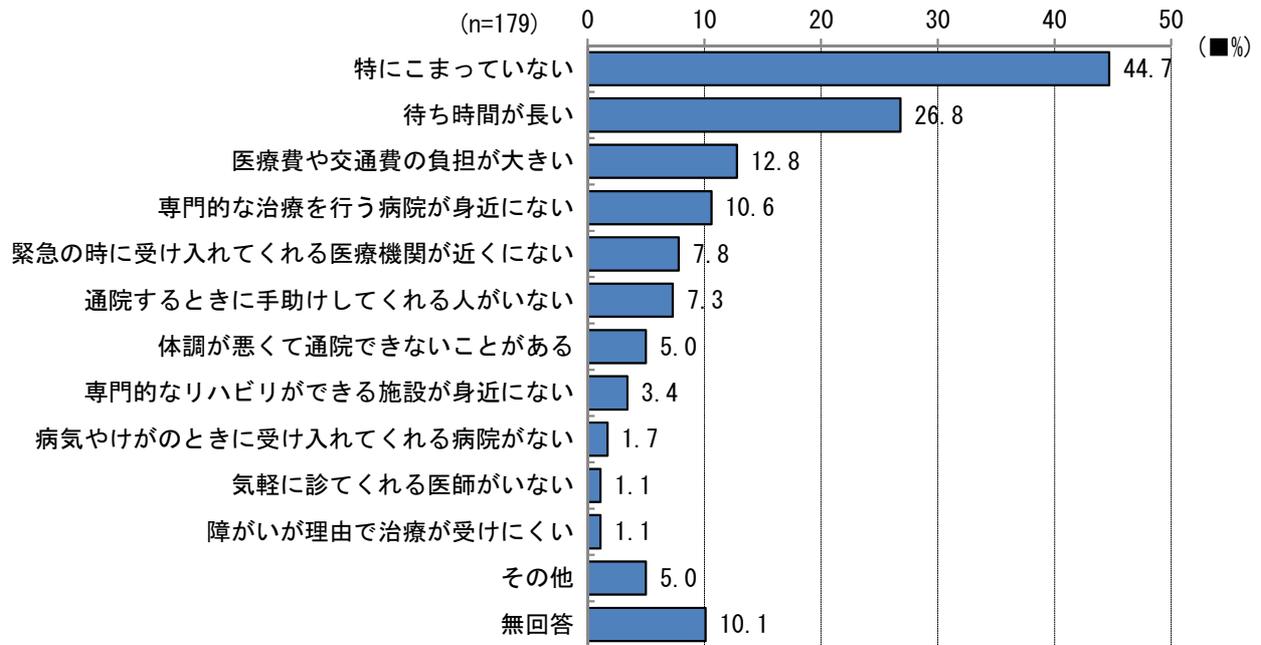
【年齢8区分別】

	回答数	週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	2～3か月に1回程度	入院中	通院していない	無回答
全体	233	8.2	1.7	11.2	31.8	22.7	1.3	13.7	9.4
0～6歳未満	7	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	42.9	14.3
6～18歳未満	13	0.0	0.0	0.0	46.2	23.1	0.0	23.1	7.7
18～29歳	11	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	45.5	9.1
30歳代	8	0.0	0.0	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5
40歳代	16	0.0	0.0	6.3	43.8	25.0	0.0	12.5	12.5
50歳代	20	5.0	0.0	15.0	25.0	35.0	0.0	15.0	5.0
60歳代	34	5.9	2.9	8.8	44.1	5.9	0.0	23.5	8.8
70歳以上	110	12.7	2.7	15.5	30.0	23.6	1.8	5.5	8.2

## 7-2 通院時の問題

問34 あなたは通院していて困っていることはありますか。(現在、通院している方におたずねします。)【あてはまるものすべてに○】

「特に困っていない」が44.7%と半数近い割合を占めていますが、困ることがある場合の割合は、「待ち時間が長い」が26.8%と最も高く、次いで「医療費や交通費の負担が大きい」が12.8%、「専門的な治療を行う病院が身近にない」が10.6%となっています。



障がい種別にみると、「待ち時間が長い」の割合は『精神障害者保健福祉手帳所持者』が 33.3%と、他の障がいを持つ方より割合がやや高くなっています。また、「緊急の時に受け入れてくれる医療機関が近くにない」と回答した方の割合は、『発達障がいの診断を受けている』が 18.2%と最も高くなっています。

【障がい種別】

	回答数	待ち時間が長い	医療費や交通費の負担が大きい	専門的な治療を行う病院が身近にない	緊急の時に受け入れてくれる医療機関が近くにない	通院するときに手助けがない	体調が悪くて通院できないことがある	専門的なリハビリがない
全体	179	26.8	12.8	10.6	7.8	7.3	5.0	3.4
身体障害者手帳所持者	117	26.5	13.7	10.3	6.8	8.5	5.1	4.3
療育手帳所持者	46	23.9	13.0	13.0	10.9	2.2	2.2	4.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	21	33.3	14.3	4.8	9.5	9.5	19.0	0.0
高次脳機能障がいの診断を受けている	10	20.0	0.0	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0
難病の認定を受けている	12	41.7	33.3	33.3	8.3	16.7	33.3	16.7
発達障がいの診断を受けている	22	27.3	18.2	18.2	18.2	0.0	0.0	4.5
	回答数	なげ病 い入気 れや てけ くが れのと き 病に 院に が受	が気 い軽 いに 診て くれる 医師	受障 けが に い く が 理 由 で 治 療 が	そ の 他	特 に こ ま っ て い ない	無 回 答	
全体	179	1.7	1.1	1.1	5.0	44.7	10.1	
身体障害者手帳所持者	117	1.7	1.7	1.7	3.4	46.2	11.1	
療育手帳所持者	46	0.0	0.0	0.0	6.5	39.1	10.9	
精神障害者保健福祉手帳所持者	21	4.8	0.0	0.0	4.8	38.1	9.5	
高次脳機能障がいの診断を受けている	10	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0	
難病の認定を受けている	12	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3	
発達障がいの診断を受けている	22	0.0	0.0	0.0	0.0	31.8	13.6	

年齢別にみると「待ち時間が長い」の回答のうち、各年代が10%を超える中、『50歳代』は6.3%と比較的低い割合となっています。

【年齢8区分別】

	回答数	待ち時間が長い	医療費や交通費の負担が大きい	専門的な治療を行う病院が身近にない	緊急の時に医療機関が近くない	通院するときに手助けがほしい	体調が悪くて通院できないことがある	専門的な施設が身近にない
全体	179	26.8	12.8	10.6	7.8	7.3	5.0	3.4
0～6歳未満	3	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
6～18歳未満	9	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
18～29歳	5	40.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
30歳代	6	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	12	16.7	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0
50歳代	16	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0
60歳代	23	13.0	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	0.0
70歳以上	95	31.6	11.6	9.5	6.3	10.5	5.3	4.2
	回答数	病気が入るのを防ぐために病院を受診しにくい	軽い診てくれる医師が少ない	障がいがある理由で治療が受けにくい	その他	特にこまっていない	無回答	
全体	179	1.7	1.1	1.1	5.0	44.7	10.1	
0～6歳未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6～18歳未満	9	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	11.1	
18～29歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30歳代	6	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	
40歳代	12	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	
50歳代	16	6.3	0.0	0.0	0.0	87.5	6.3	
60歳代	23	0.0	0.0	4.3	8.7	43.5	17.4	
70歳以上	95	2.1	2.1	1.1	3.2	42.1	11.6	

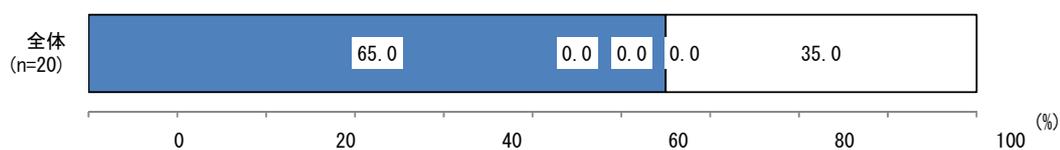
## 8 療育・保育について

(問 35 から問 40 までは、18 歳未満の方のみ回答。)

### 8-1 受けている(いた)療育・保育

問 35 現在、どのような療育・保育を受けていますか、または過去に受けたことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

「児童発達支援(子育て支援センターや療育機関など)」が 65.0%と全体に対して高い割合を占めており、「医療機関での療育教室など」と「保育園・幼稚園での保育」「その他」はそれぞれ 0.0%、無回答が 35.0%となっています。

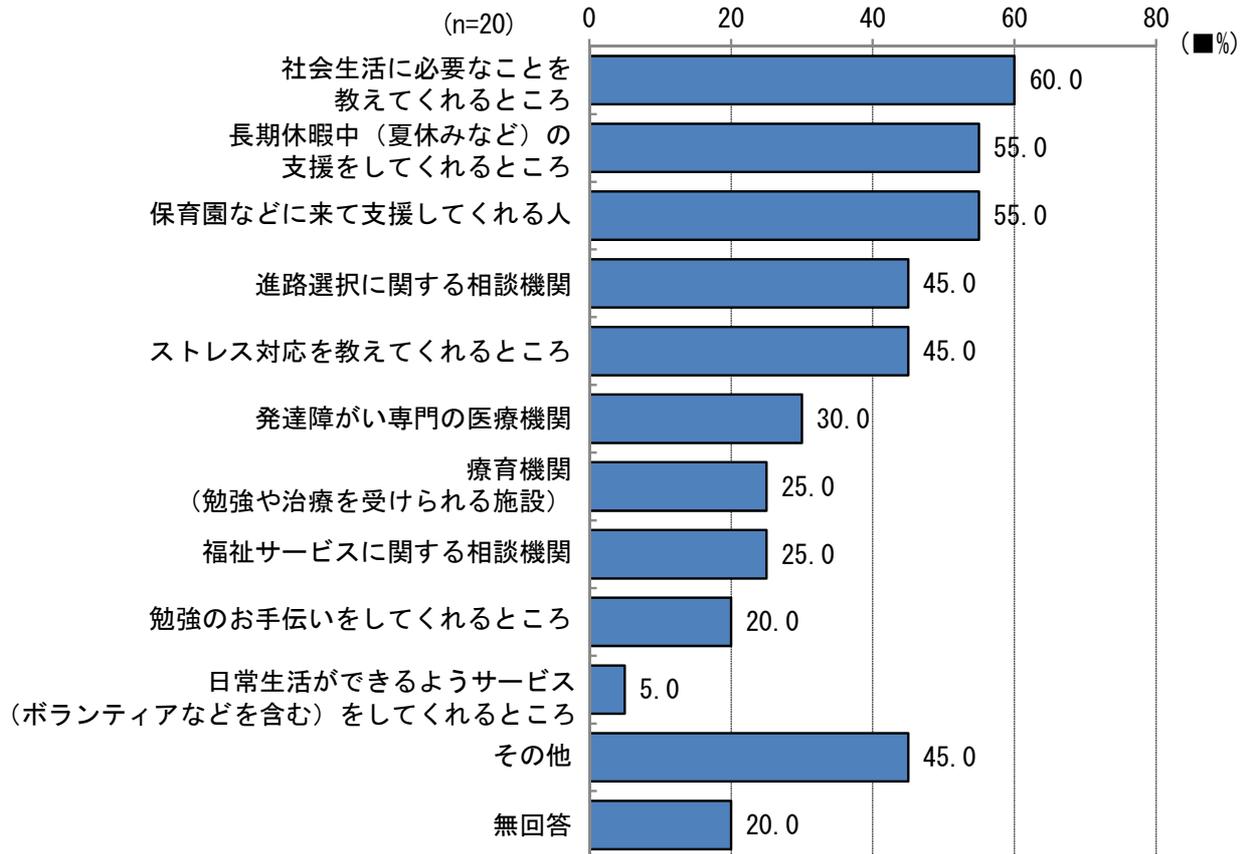


■ 児童発達支援(子育て支援センターや療育機関など) ■ 医療機関での療育教室など ▨ 保育園・幼稚園での保育 ■ その他 □ 無回答

## 8-2 療育・保育に関する必要な支援

問36 あなたや家族が求める療育・保育に関する支援は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「社会生活に必要なことを教えてくれるところ」が60.0%と最も高く、次いで「長期休暇中（夏休みなど）の支援をしてくれるところ」と「保育園などに来て支援してくれる人」が共に55.0%となっています。その他「進路選択に関する相談機関」や「ストレス対応を教えてくれるところ」も共に45.0%と全体的に高い割合となっています。

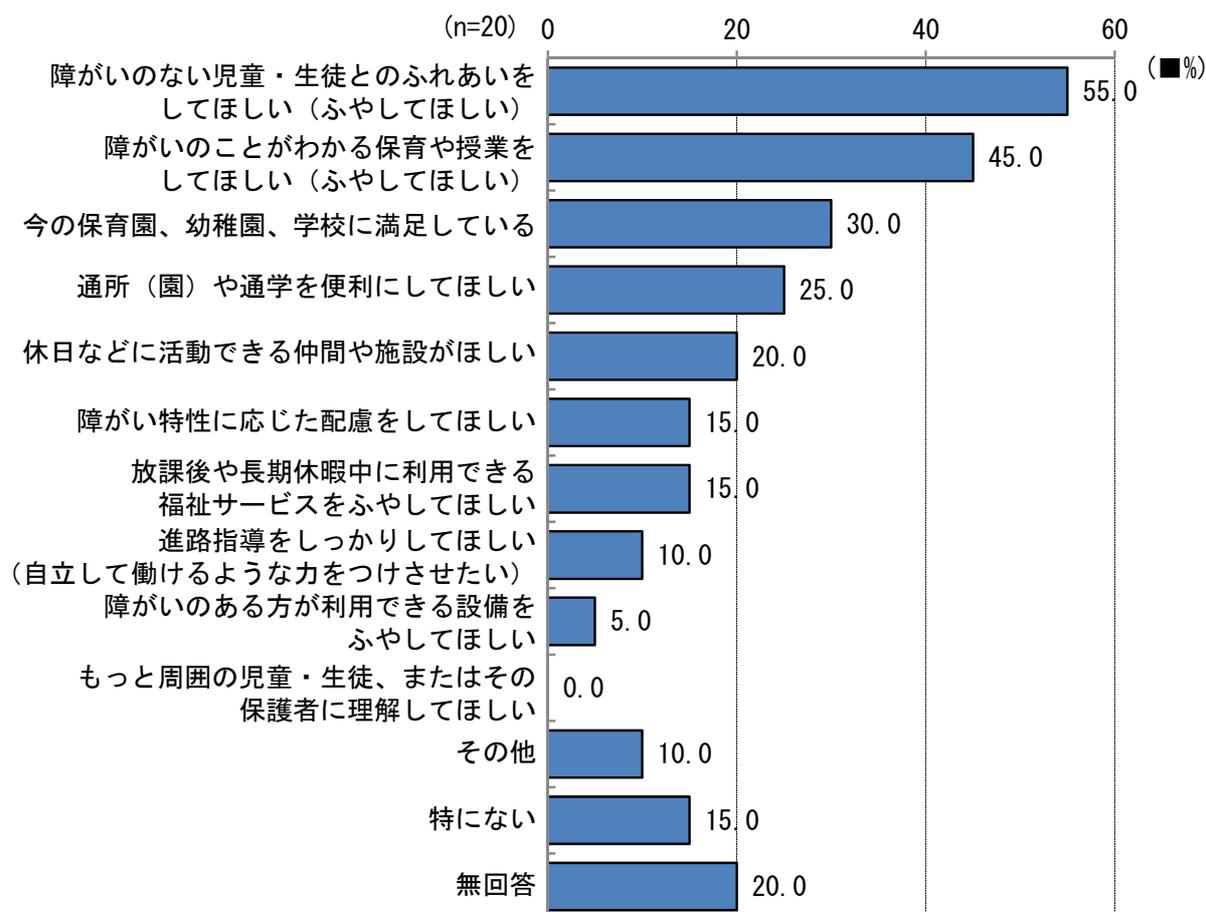


## 9 地域の学校、保育園や幼稚園などに通われている方について

### 9-1 今後の保育・教育に求めること

問37 あなたは、保育や教育について、今後どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるもの3つまでに○】

今後求めることとして、「障がいのない児童・生徒とのふれあいをしてほしい（ふやしてほしい）」が55.0%と半数以上を占めており、次いで「障がいのことがわかる保育や授業をしてほしい（ふやしてほしい）」が45.0%、「今の保育園、幼稚園、学校に満足している」が30.0%となっています。

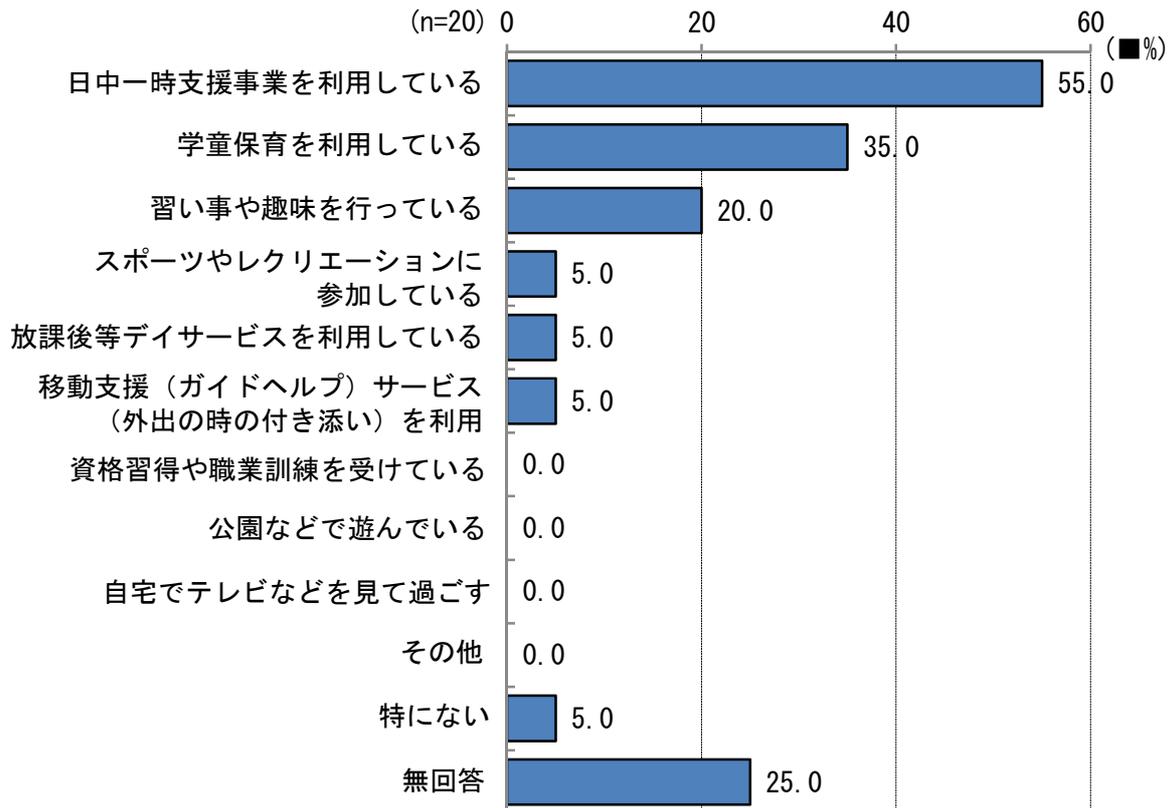


## 10 長期休暇中、放課後等の過ごし方について

### 10-1 長期休暇中（夏休みなど）、放課後等の主な過ごし方

問38 あなたの長期休暇中（夏休みなど）、放課後等の主な過ごし方は次のうちのどれですか。【あてはまるもの3つまでに○】

「日中一時支援事業を利用している」が55.0%と最も高く、次いで「学童保育を利用している」が35.0%、「習い事や趣味を行っている」が20.0%となっています。

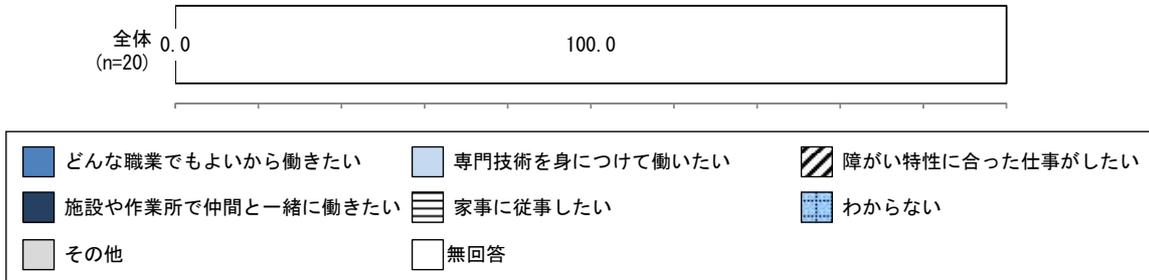


## 1 1 将来について

### 1 1 - 1 将来の生活

問 3 9 あなたは将来どのような生活をしたと思いますか。【1つに○】

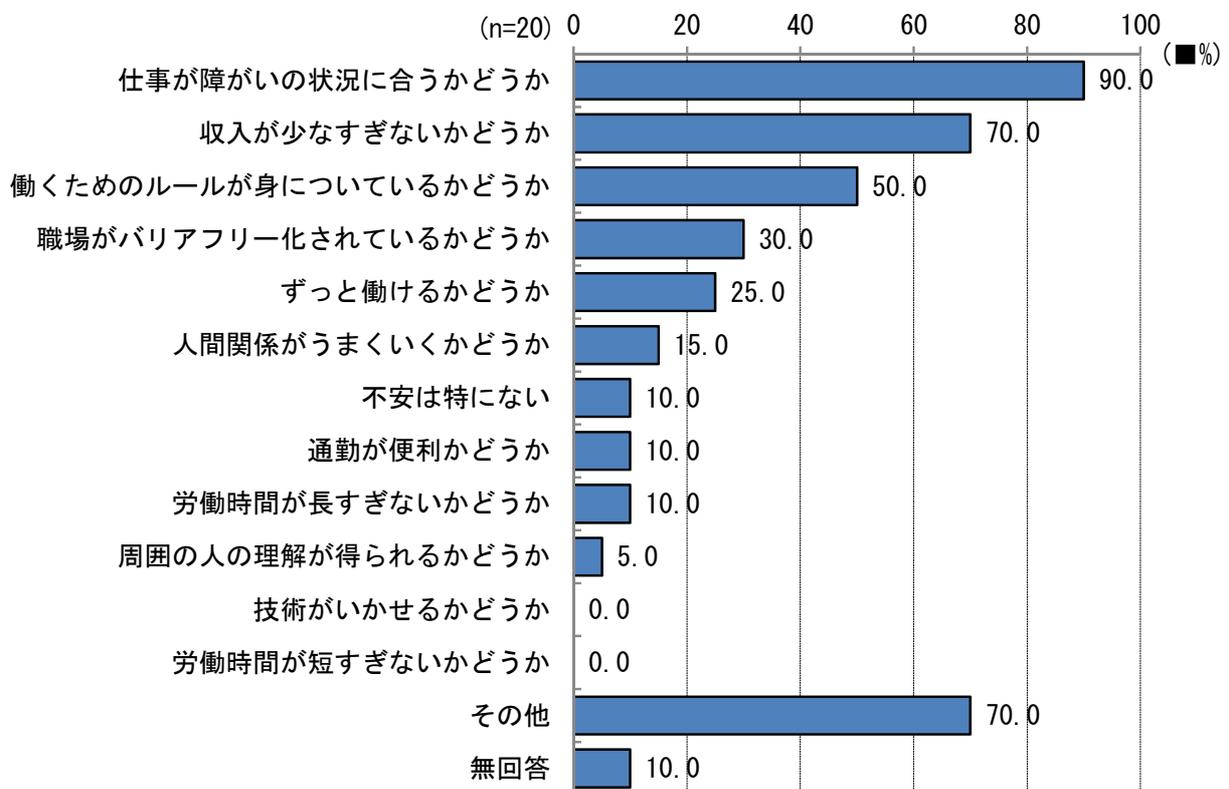
将来の生活については「無回答」が 100.0%となっています。



### 1 1 - 2 今後の就労に対しての不安

問 4 0 将来、仕事をするとき、あるいは仕事をしているなかで、あなたはどんな不安がありますか。【あてはまるものすべてに○】

今後の就労についての不安としては「仕事が障がいの状況に合うかどうか」が 90.0%と全体の 9 割を占めており、次いで「収入が少なすぎないかどうか」と「その他」が共に 70.0%、「働くためのルールが身についているかどうか」が 50.0%となっています。



## 1 2 自由記述

### 1 2-1 障がいのある方の施策全般についての意見・要望

問 4 1 障がいのある方の施策全般について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

#### サービス・行政について

- ・障がいの程度による、サービス等の内容がわかるような物がほしい。例えば受けれるサービス、受けられないサービスが今はわかっていない為、一人暮らしするときには、どのような補助が受けられるとか。(60代)
- ・町からの直接的な援助はほとんどないように思います。暮らしにくく感じている障がい者にも目をとめていただきたいと感じます。障がい者でも気軽に参加できるような施設やサービスなどがもっとふえたらいいなと思います。(30代)
- ・障がいの級が上昇しないような予防的な対応を今後考え対応をお願いしたい。(70代)
- ・町主催のイベントが多いと嬉しい。(70代)
- ・自宅で生活していた時は買物などで外出に困っていた。昔は障害者のスポーツ大会に参加する機会が多かった。佐用町でもスポーツ大会を開催してほしい。(70代)
- ・障がいがあると地域のイベントにも出かけられない。食料品の買い物も自由に出来ない。娘に5千円払って自動車で連れていってもらっている(月1回～2回)。病院も問診表がかけないので妹が電話してかかれる状態です。町内以外は娘に頼みしづいづいってくれる。生活をサポートしてくれるヘルパ制度があればと思います。(70代)
- ・障がいの程度による、サービス等の内容がわかるような物がほしい。例えば受けれるサービス、受けられないサービスが今はわかっていない為、一人暮らしするときには、どのような補助が受けられるとか。(60代)
- ・何といっても行政の姿が見えない。(90代)
- ・作業所を利用していますが3連休などの時は1日開所日にしてほしい!(50代)
- ・警報が出ると、ヘルパーが来ないので、その時の避難場所が、ほしい。はなみずき、サンホーム、朝日个丘荘にショートステイの手続きをしていますが、どこも満室の時があります。(70代)

#### 介護について

- ・72才という年齢と、沢山の障がいを持ちながら一人で暮らしていて本当に厳しい状態なので、いつ倒れたり、発作が出るかわからないので、朝夕のちょっとした支援を受けられたら、別居支援者は安心します。昨年夏までは、自力で外出していたので、現在、足も機能が劣え、心も塞いでいるので、ちょっとした声かけが嬉しいのです。(70代)
- ・現在自宅から作業所(生活介護)に行っています。下肢が全廃なので自宅入浴に困っていて、ヘルパーの利用もなかなか人材不足の理由で利用出来ません。訪問入浴も週1回ですし、後は親がしていますが、たいへんです。ヘルパー利用出来ないか他の方法はないか考えています。外出で公共の乗り物を利用したいのですが、駅まではヘルパーは利用出来ない所以家族の送迎が必要ですし、公共の乗り物の1日の本数が少ないので時間に合わせる事などたいへんなので、ヘルパーの運転での外出は出来ないか。両親が共に70才台で体調が悪い時、ホームヘルパーに身体介護をお願いしたいのですが急に利用を希望しても障害者本人も不安だと思うので、前もって練習も兼ねて利用していければいいのですが。(40代)

公共交通機関について
・障がい者の人関係なく1時間に1～2本バスを走らせて欲しい。電車の時間帯で買い物に行くのでバスが走っていたら便利だから誰でも乗れるバスが走って欲しい。(18 歳以上)
・移動手段として福祉車両を貸りられるとは、とても助かっているが、福祉タクシー(運転手さん)を利用できなければ、ヘルパーさんも利用できない。姫新線がなくなるとか、言われているので、コミバスには限界があり維。とにかく福祉タクシーの移動をすぐにでも実施してほしいです。(20 代)
・今は二人暮らしですが、いずれ一人になり暮らしも不安です。田舎なので交通の便も悪いですので、歩けなくなると買い物、通院、緊急時と思うと心配です。今後介護する人も(若い人)少ないですし、色んな面で、介護、障がいのある方に対し、安心して暮らして行ける様になればと思います。(60 代)
・一番に車に乗れないので足の便をしてほしい(70 代)
・障がい者となった時は50代だったが、高齢者となりだんだんと動けなくなり、通院やリハビリを受ける交通手段もなくなっている。大変だと思いますが障がいに応じてどんなサービスが受けられるのか知らせてほしい。(70 代)
・今後のことはわかりません。しかし、運転免許証を手放すと、不便はある。それでも何とかやれるかと(80 代)

施設について
・施設の利用料を安くしてほしい。(90 代)
・今のところ家庭で1日1日過ごしていますが、いつまでも親がいる場合がないので亡くなるまでにどこか施設に入れてやりたいので相談にのってもらいたいです。(40 代)
・若い者と同居してるとなかなか施設へは入れない様なので困ってる。子供をぎせいにしてしまう。この先どうなるか心配である。(80 代)
・施設全般において必要な時にすぐ受け入れてもらえる体勢にしておいてほしい。(70 代)
・高齢者で、家族が近くにいなくて、世話をする人がいない場合、(家族はいるが遠くに住んでいる等)すぐに入所したり短期入所できる施設が少ない。順番待ちをしている状況を、なんとかしてほしい。
・精神障害があるので、精神科以外への入院が必要となった時に受け入れ体制が十分でないので健常者並みの治療が受けられない。夜中に大声を出したりするので精神科以外での病院は対応が難しいのはよくわかりますがこういう所でも格差(差別)になってしまうのが現実です。(60 代)

お金について
・障がい年金が欲しい。(60 代)
・また、定額給付金を10万円ぐらいください。(50 代)
・19才の時から、年金をかけているのですが、いずれは老人ホームにいこうと思っていますが、その時、どれ位の年金が入るのでしょうか、しょうらいを考えると不安になります。年をとってからの生活不安をなくす様な、せいさくをおねがいます(60 代)
・いつも世話になります。私は、国民年金が少ないので、福祉年金を少しでもいただけたらなあ、と思います。むりなおねがいでしょうか。主人がなくなったので、年金が、半分にたり、生活が、しんどいです。(80 代)

その他
・障がい者が住みよい社会をお願い致します。(90代)
・みんなが楽しく働ける社会になればいいと思います。給料も一人暮らしできるぐらいもらえたらいいと思います(50代)
・この様なアンケート内容でどんな事がわかってどんな改善につながるのかよくわかりませんが困って居る方々のためによりしくお願いします。(80代)
・目に障がい(片目のため)何につけても字を見る事など気分的に困る。(80代)
・できれば、母といっしょに長く、生活したいですが、家もあちこちいたんで、すみにくくなってきているので、それもむずかしい。兄がいても、知らんぷり…。毎日、いろいろ悩んで母とけんかばかり。どうすればよいのでしょうか。(60代)
・何もわかりませんので、お世話になります。有難うございました。
・特になし自分で頑張れるうちは、頑張ります。(50代)
・72才という年齢と、沢山の傷害を持ちながら一人で暮らしていて本当に厳しい状態なので、いつ倒れたり、発作が出るかわからないので、朝夕のちょっとした支援を受けられたら、別居支援者は安心します。昨年夏までは、自力で外出していたので、現在、足も機能が劣え、心も塞いでいるので、ちょっとした声かけが嬉しいのです(70代)
・80才などで現在は(将来)も職業につくことはないと思います。農業をして行きたいと思います。(80代)
・現在両足骨折をしています。歩行困難になっています。家の中も外も押し車を押して歩いています。先月1月25日の大雪のときは、身動きが出来ず、業者様にお願いして重機でのけてもらいました。請求書が気になります。(80代)